

---

---

矢掛町 子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
報告書（概要版）

---

---

令和6年3月  
岡山県 矢掛町



# ～ 目 次 ～

I 調査概要	1
II 回答者の属性	2
1 子どもの年齢・学年	2
2 家族構成	2
3 回答者の続柄	2
III 調査結果	3
【1】子どもの育ちをめぐる環境について	3
1 保護者の出身地	3
2 矢掛町へ転入することになったきっかけ	4
【2】保護者の就労状況について	5
1 保護者の就労形態	5
2 保護者の就労日数、就労時間等	6
【3】教育・保育事業の利用状況について	8
1 教育・保育事業の利用状況	8
2 教育・保育事業を利用していない理由	10
3 教育・保育事業の今後の利用意向	11
4 希望する利用開始年齢	12
5 利用したい教育・保育事業の実施場所	12
【4】地域の子育て支援事業の利用状況について	13
1 子育て支援センターなどの利用状況	13
2 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	13
3 就学前児童の地域子育て支援拠点事業の認知状況・利用経験・利用意向	14
4 小学生の地域子育て支援拠点事業の認知状況・利用経験・利用意向	17
【5】病気の際の対応について	20
1 就学前児童の病気やケガの時の対応	20
2 小学生の病気やケガの時の対応	20
3 病児・病後児のための保育施設等の利用意向	21
4 病児・病後児保育施設等を利用しない理由	21
【6】就学前児童の不定期の保育サービスの利用について	22
1 一時預かりなどの利用状況	22
2 一時預かりなどを利用していない理由	22
3 有料での一時預かりなどの利用意向	23
4 短期入所生活援助事業の利用意向	23
【7】小学生の不定期の保育サービスの利用について	24
1 一時預かりなどの利用状況	24
【8】就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について	24

1	小学校入学後に希望する放課後の過ごし方	24
2	放課後児童クラブの利用希望	25
【9】	小学生の放課後の過ごし方について	25
1	放課後を過ごす場所	25
2	必要と感じる地域の子育て支援	26
【10】	小学生の放課後児童クラブの現在の利用状況について	27
1	放課後児童クラブの利用状況等	27
2	放課後児童クラブへの要望	29
3	放課後児童クラブを利用していない理由	30
【11】	子育て全般について	31
1	子育て仲間の有無	31
2	子育てに関する不安や負担感	31
3	子育てに関する不安や悩み	32
4	家事・育児の役割分担の状況	33
5	子育てについての相談先の有無	34
6	子育てについての相談先	35
7	矢掛町での子育てのしやすさ	36
【12】	療育について	37
1	児童発達支援などの療育の認知状況	37
2	町内の児童発達支援事業所の認知状況	38
3	放課後等デイサービスなどの療育の認知状況	38
4	町内の放課後等デイサービス事業所の認知状況	39
5	療育の利用状況・利用意向	39
【13】	育児休業制度について	40
1	育児休業制度の利用経験	40
2	育児休業取得後の職場復帰状況	41
3	希望の時期に職場復帰しなかった理由	42
4	子育て支援について企業側への要望	43
【14】	子育て支援などについて	44
1	子育て支援の認知状況・利用経験・利用意向	44
2	子育て支援の重要度	49
3	子育てをするうえで矢掛町に望む支援	50

# I 調査の概要

## 【調査の目的】

本調査は、「第3期矢掛町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、町内の就学前児童及び小学生を持つ保護者に対し、現在の就労状況や教育・保育事業の利用状況及び今後の利用希望や子育てニーズ等を調査し、子育て支援施策の検討に資することを目的として実施した。アンケートの調査内容については、「国のモデル調査票」を踏まえ、それに本町独自の設問を加えて設計している。

## 【調査対象】

- ・調査地域：矢掛町全域
- ・調査対象：就学前児童／町内に居住する0歳から小学校入学前までの子どもがいる家庭  
小学生／町内に居住する小学生の子どもがいる家庭

## 【調査方法】

郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

## 【調査期間】

令和6年1月

## 【回収結果】

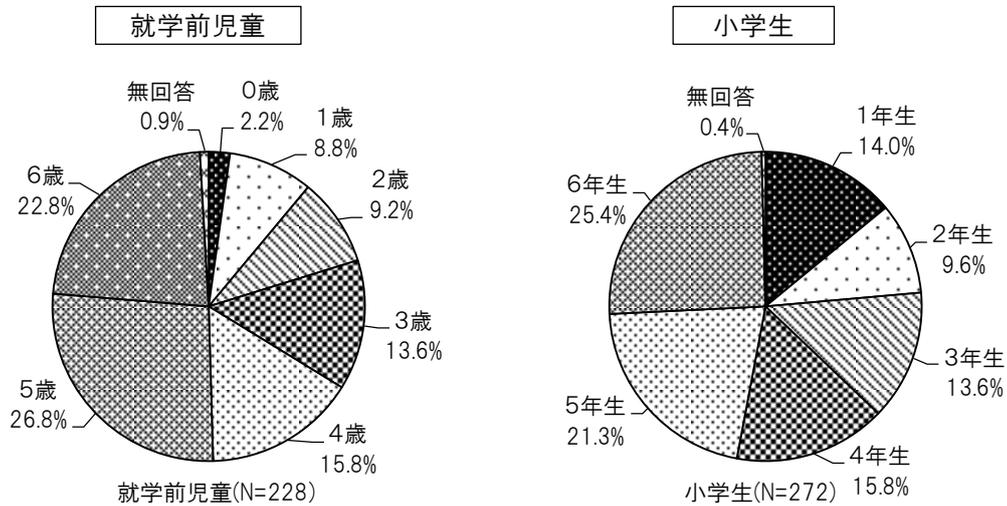
	標本数(配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	370	228 (郵送:119、Web:109)	61.6%
小学生	437	272 (郵送:133、Web:139)	62.2%
合計	807	500 (郵送:252、Web:248)	62.0%

## 【報告書の見方について】

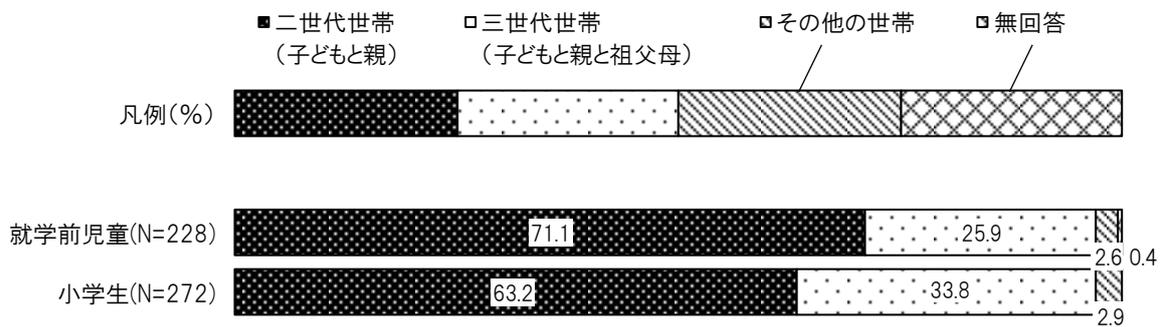
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は一致しない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて(就学前の子どもを基準に)表記している場合がある。
- (6) 設問番号の「就」は就学前児童の設問番号、「小」は小学生の設問番号を示している。
- (7) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載している。

## II 回答者の属性

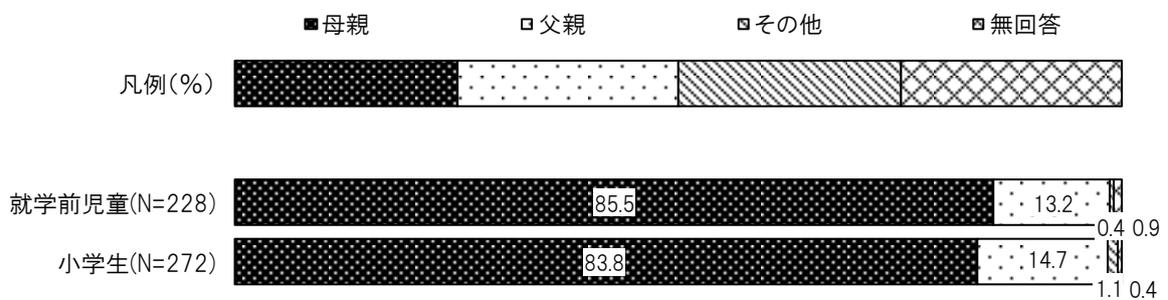
### 1 子どもの年齢・学年



### 2 家族構成



### 3 回答者の続柄



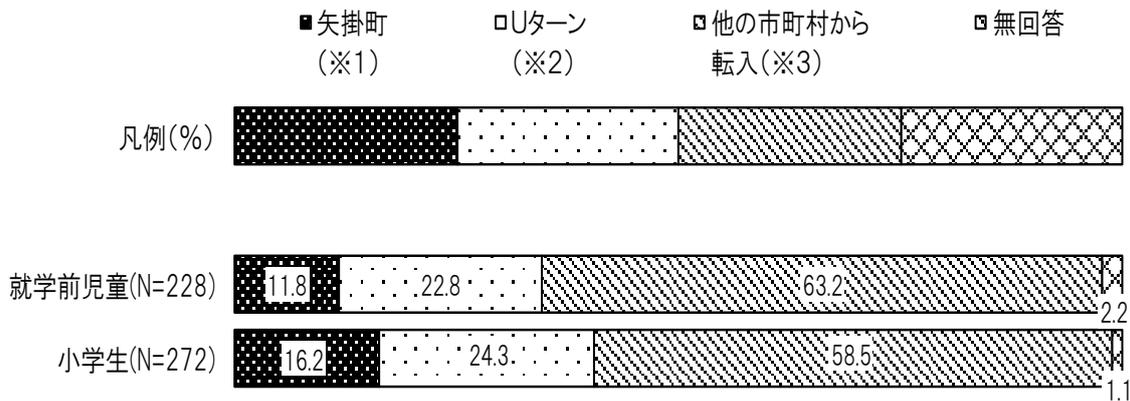
### Ⅲ 調査結果概要

#### 【1】子どもの育ちをめぐる環境について

##### 1 保護者の出身地

就問9（小問10） あなた（この調査にご回答の保護者の方）は矢掛町出身ですか。  
（○は1つ）

保護者の出身地については、就学前児童、小学生の保護者ともに、「他の市町村から転入してきた」の割合が高く、「矢掛町にずっと住んでいる（矢掛町から転出したことがない）」の割合は、就学前児童の保護者で11.8%、小学生の保護者で16.2%となっている。



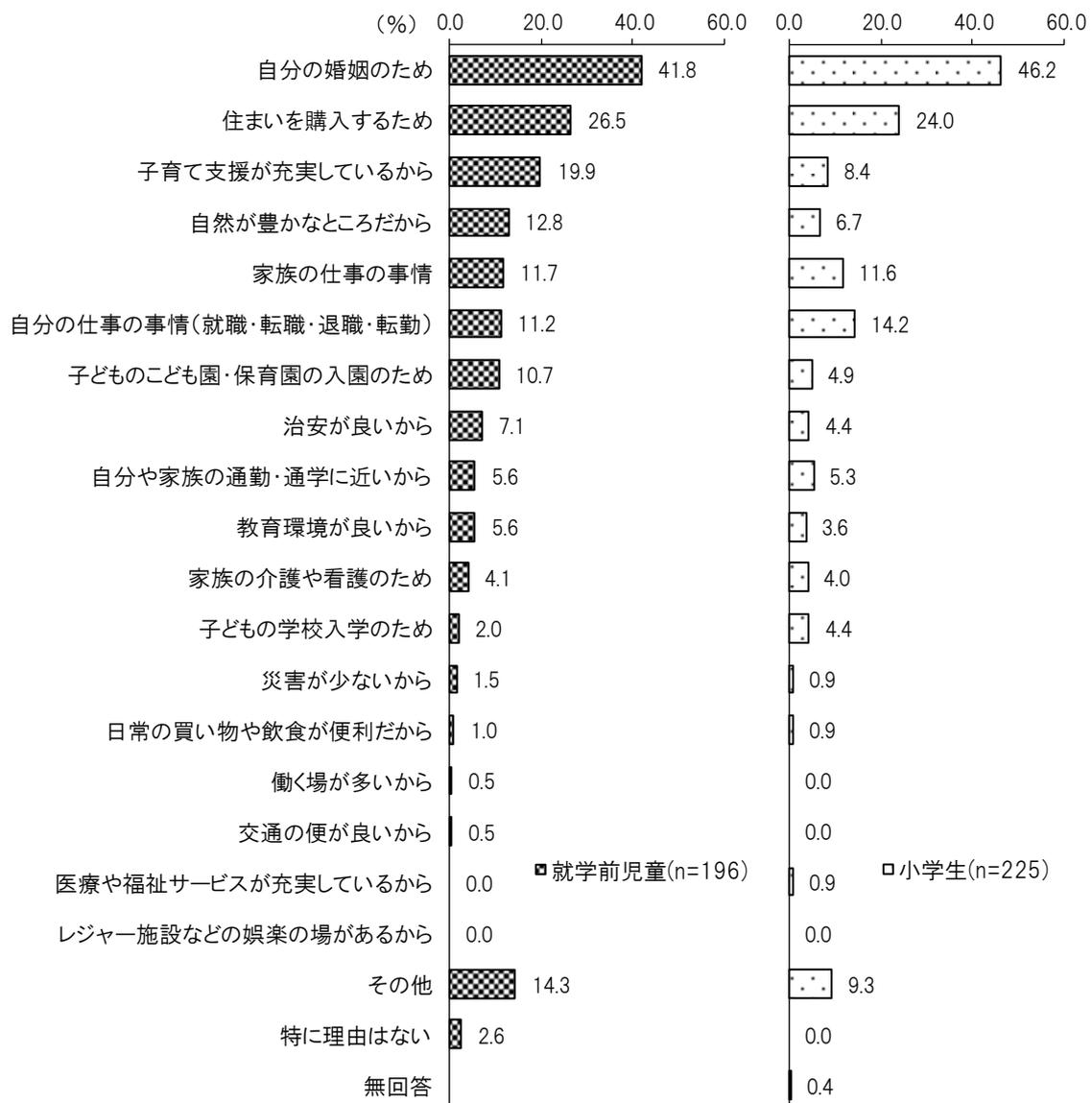
※1：矢掛町にずっと住んでいる（矢掛町から転出したことがない）  
 ※2：一度別の市町村に移住し、再び転入してきた（Uターン）  
 ※3：他の市町村から転入してきた

## 2 矢掛町へ転入することになったきっかけ

【町外から転入された方におうかがいします。】

就問9-1 (小問 10-1) あなたが矢掛町へ転入することになったきっかけは何ですか。(○は当てはまるものすべて)

矢掛町へ転入することになったきっかけについては、就学前児童、小学生の保護者ともに、「自分の婚姻のため」「住まいを購入するため」の順に高くなっている。また、就学前児童の保護者の約2割(19.9%)が「子育て支援が充実しているから」と回答している。



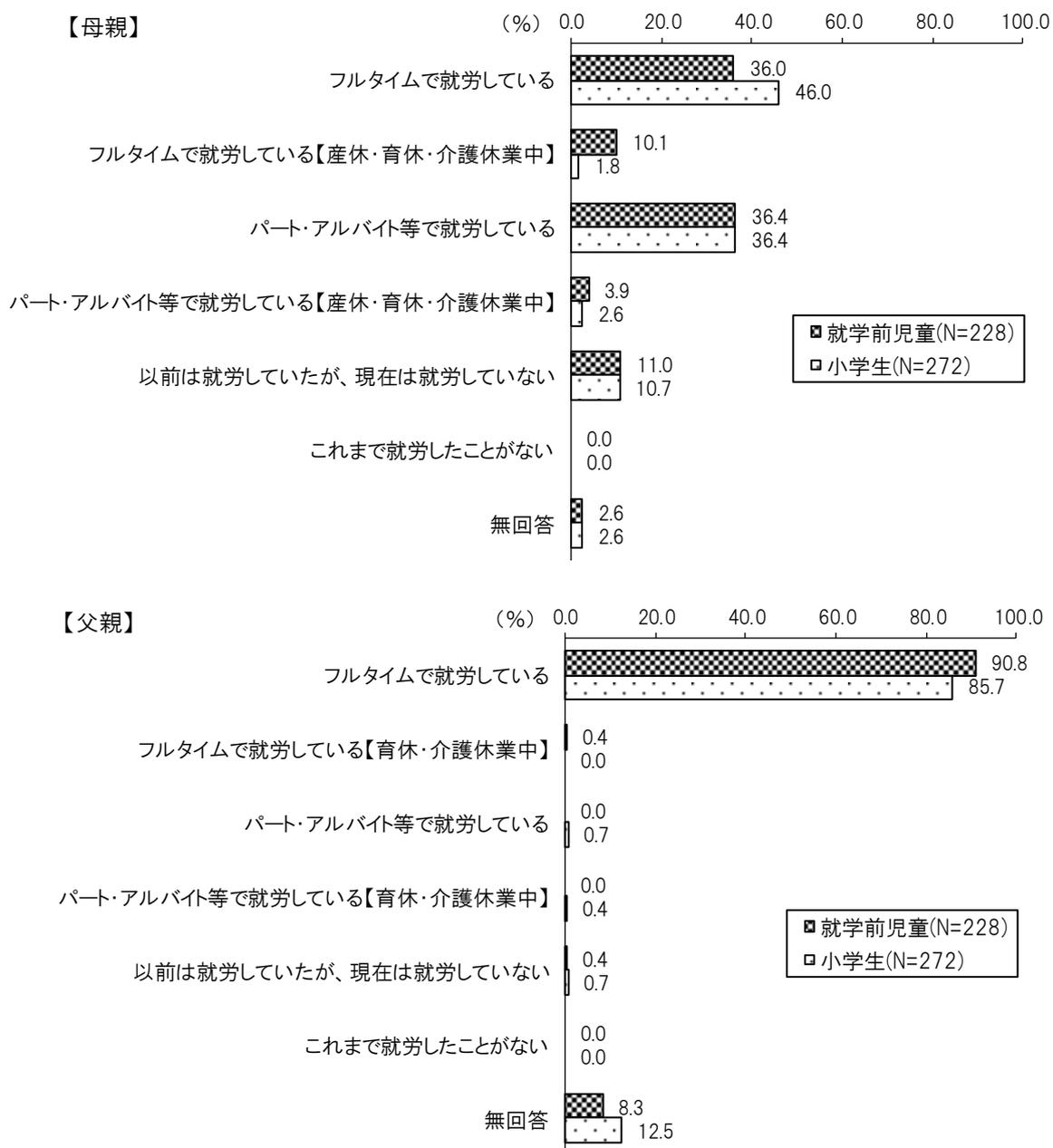
## 【2】保護者の就労状況について

### 1 保護者の就労形態

就問 10 (小問 11) お母さんの就労状況を回答してください。(○は1つ)

就問 11 (小問 12) お父さんの就労状況を回答してください。(○は1つ)

就学前児童の母親の8割以上(86.4%)が現在就労しており、そのうちフルタイムが46.1%(休業中を含む)を占め、4割(40.3%)がパート・アルバイト等で就労している。小学生の母親は、「フルタイムで就労している」の割合が就学前児童の母親を上回っており、父親については、大半がフルタイムで勤務している。



## 2 保護者の就労日数、就労時間等

【就労している方におうかがいします。】

就問 10-1 (就問 11-1) (小問 11-1) (小問 12-1) 1週当たりの「就労日数」、  
1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、家を出る時間・帰宅時間、土曜  
日・日曜日の勤務状況を記入してください。

(数字を記入・土日の勤務状況は○は1つ)

保護者の就労日数、就労時間、出勤・帰宅時間、土日の勤務状況については、以下のとおりとなっている。

### 【週当たり就労日数】

単位(日)		平均	最小値	最大値
母親	就学前児童(n=195)	4.8	2.0	7.0
	小学生(n=235)	4.9	3.0	7.0
父親	就学前児童(n=208)	5.2	3.0	7.0
	小学生(n=228)	5.2	1.0	7.0

### 【1日当たり労働時間】

単位(時間)		平均	最小値	最大値
母親	就学前児童(n=194)	6.8	3.0	12.0
	小学生(n=231)	7.0	3.0	15.0
父親	就学前児童(n=206)	9.5	7.0	24.0
	小学生(n=228)	9.4	6.0	24.0

### 【家を出る時間】

単位(%)		7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
母親	就学前児童(n=197)	29.4	43.1	9.1	4.6	1.0	1.0	0.5								11.2
	小学生(n=236)	21.2	50.4	11.4	1.7		0.4	0.4	0.4							14.0
父親	就学前児童(n=208)	63.9	24.5	1.9	0.5	0.5		0.5		0.5						7.7
	小学生(n=236)	60.2	19.9	2.5		0.4		1.3							0.4	15.3

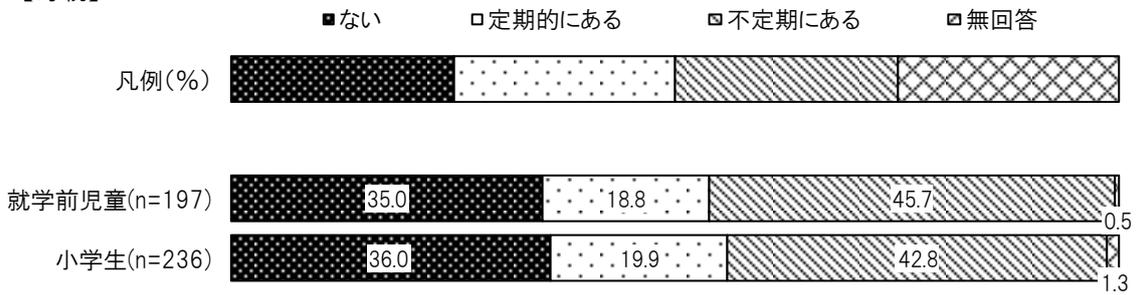
### 【帰宅時間】

単位(%)		7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
母親	就学前児童(n=197)	5.1						2.5	3.6	3.0	11.2	20.8	31.0	8.6	3.6	10.7
	小学生(n=236)						1.7	3.4	8.1	6.4	8.9	16.5	27.1	8.5	5.5	14.0
父親	就学前児童(n=208)	2.9	1.4	2.4	0.5	0.5					0.5	7.7	20.7	24.0	32.2	7.2
	小学生(n=236)		0.4	0.8	0.4						0.4	9.3	18.6	14.4	41.5	14.0

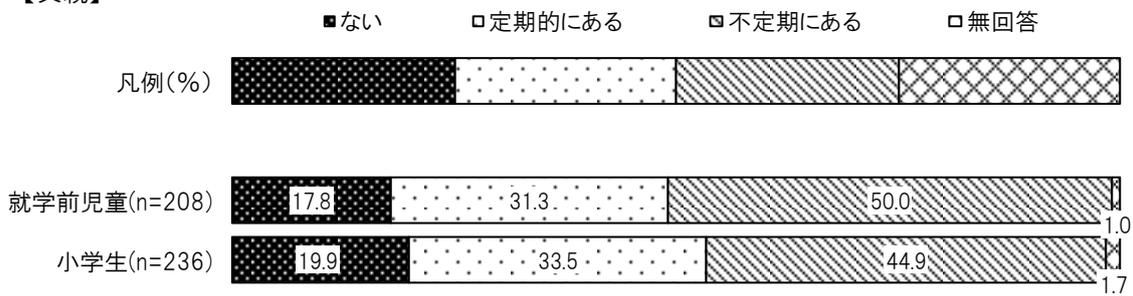
注：空欄は0のため、表記から省略している。

## 土曜日の勤務

### 【母親】

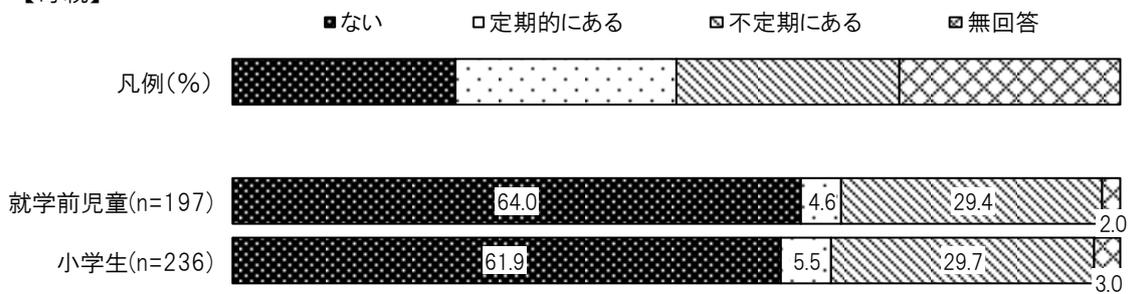


### 【父親】

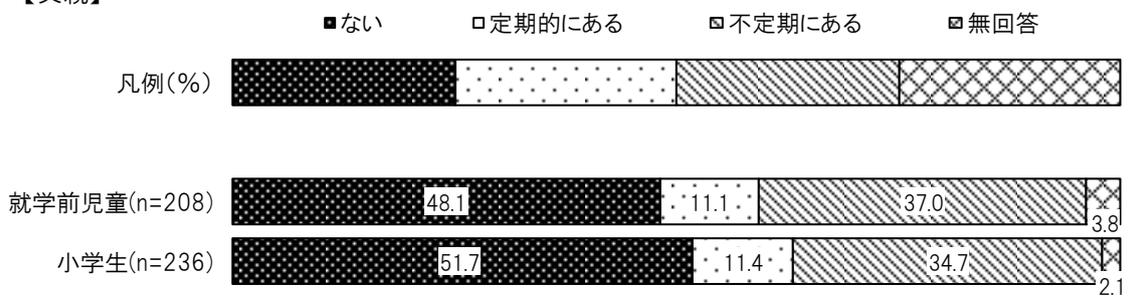


## 日曜日の勤務

### 【母親】



### 【父親】



### 【3】教育・保育事業の利用状況について

#### 1 教育・保育事業の利用状況

就問 12 あて名のお子さんは現在、認定こども園や保育園などの教育・保育事業を利用していますか。（○は1つ）

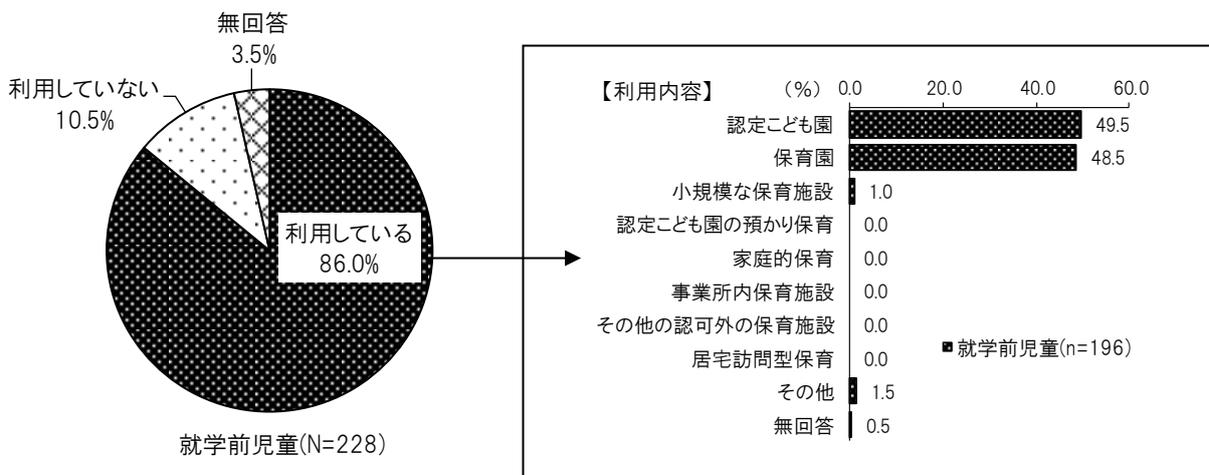
就問 12-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。（○は当てはまるものすべて）

就問 12-2 平日、定期的に利用している認定こども園や保育園などの教育・保育事業をどのくらい利用していますか。

就問 12-3 現在、利用している認定こども園や保育園などの教育・保育事業の実施場所はどの地域ですか。（○は1つ）

#### (1) 利用状況

全体の8割以上（86.0%）が教育・保育事業を利用しており、そのうち「認定こども園」（49.5%）や「保育園」（48.5%）の利用が多くなっている。



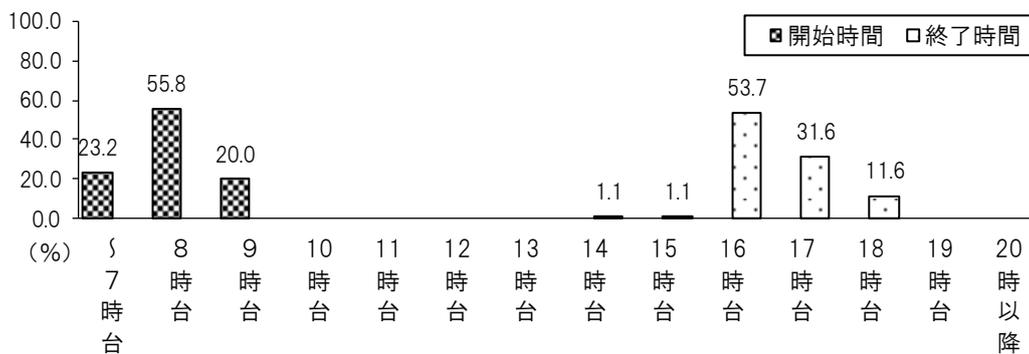
## (2) 利用日数・利用時間帯

保育園、認定こども園の週当たりの利用日数はともに平均 5.0 日となっており、利用時間帯についても、開始時間は「8 時台」、終了時間は「16 時台」がそれぞれ最も多くなっている。

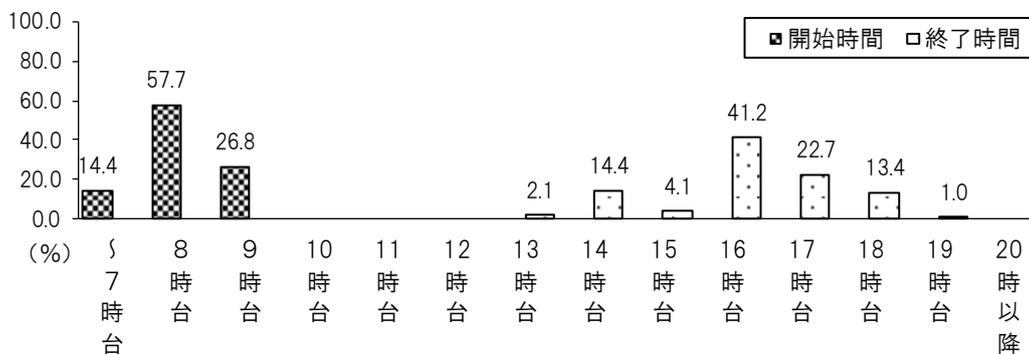
【週当たりの利用日数】

【週当たりの利用日数】 単位(日)		平均	最小値	最大値
事業 利用 別	保育園(n=94)	5.0	5.0	6.0
	認定こども園(n=97)	5.0	5.0	6.0

【保育園(n=95)】

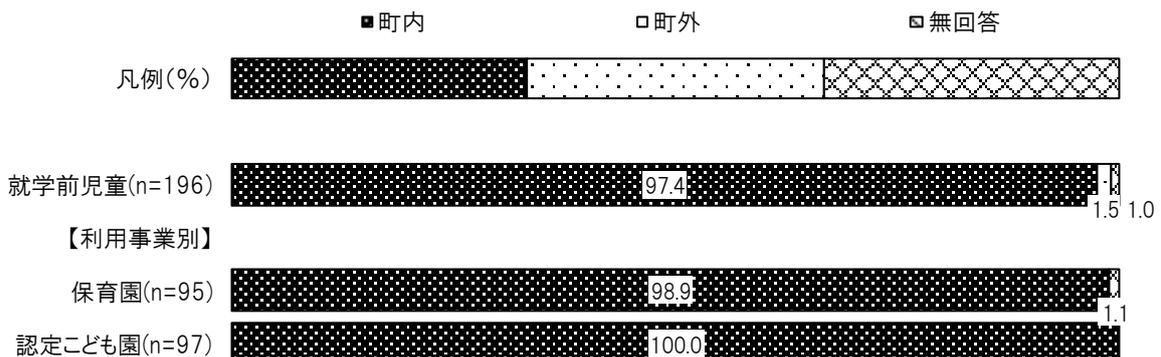


【認定こども園(n=97)】



## (3) 利用している教育・保育事業の実施場所

利用している教育・保育事業の実施場所については、保育園、認定こども園ともに「町内」がほとんどを占めている。

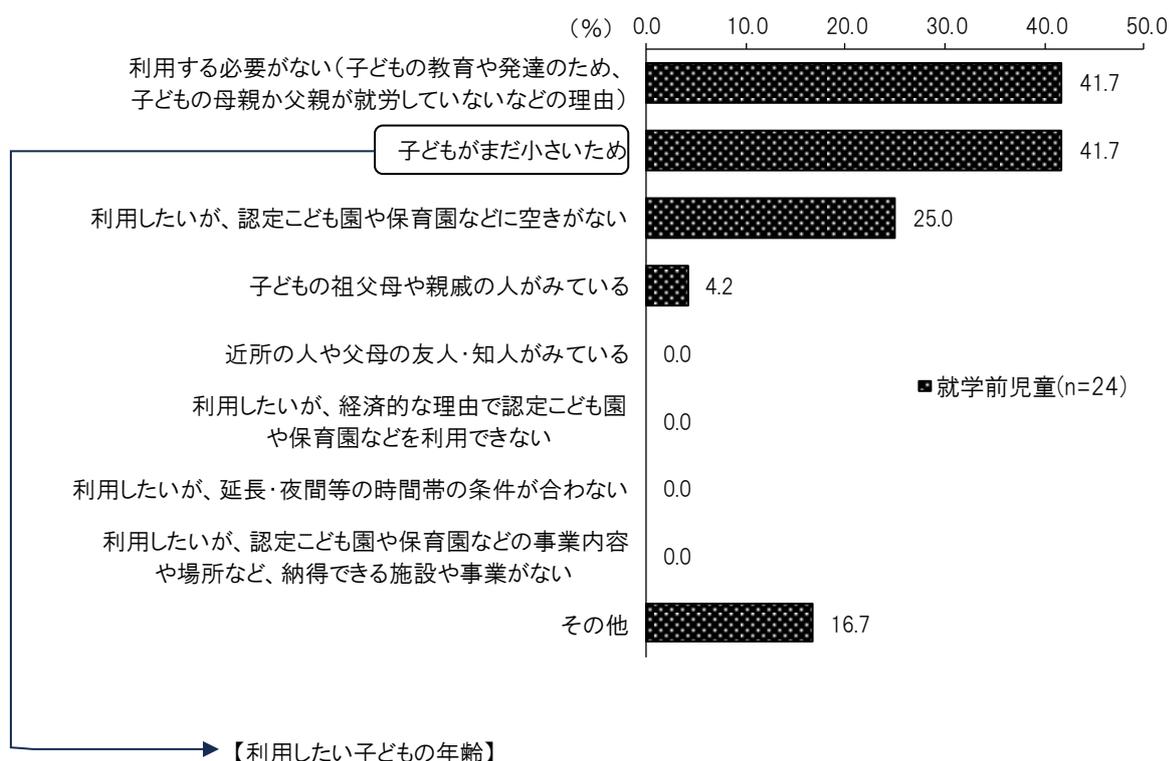


## 2 教育・保育事業を利用していない理由

【教育・保育事業を利用していない方におうかがいします。】

就問 12-4 現在、あて名のお子さんが認定こども園や保育園などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。（○は当てはまるものすべて）

教育・保育事業を利用していない理由については、「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」「子どもがまだ小さいため」が各 41.7%と最も多く、次いで「利用したいが、認定こども園や保育園などに空きがない」（25.0%）が続いている。

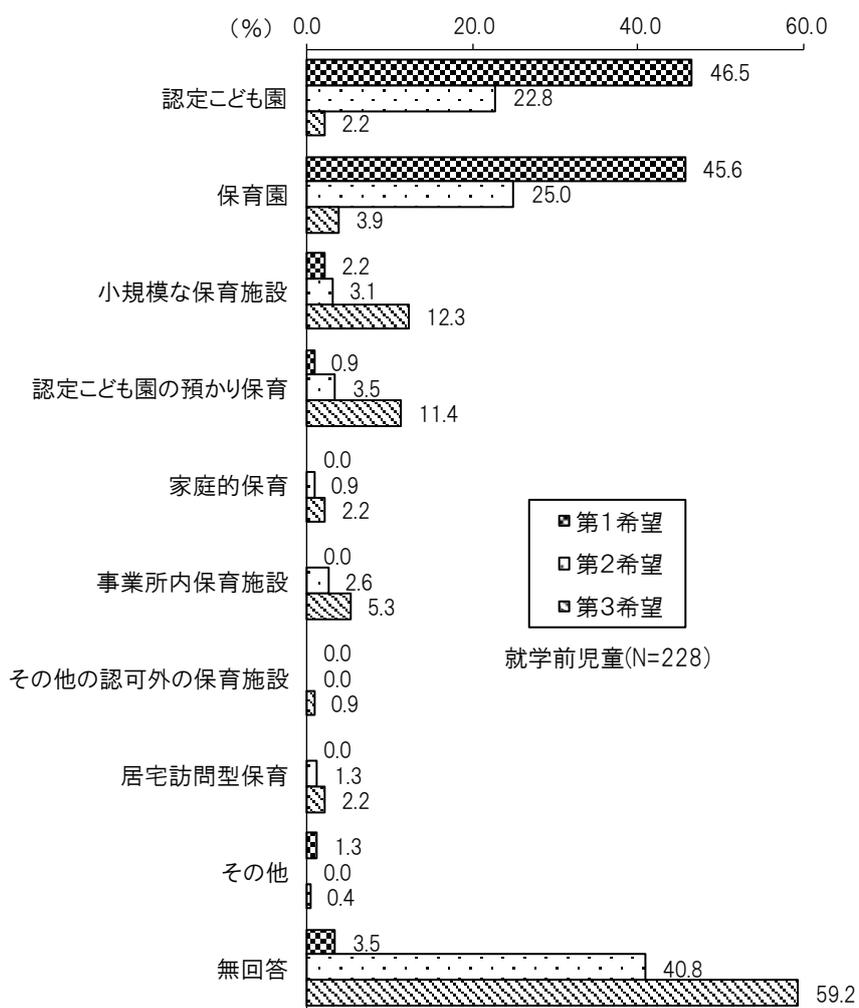


単位(歳)	平均	最小値	最大値
就学前児童(n=10)	2.0	1.0	3.0

### 3 教育・保育事業の今後の利用意向

就問 13 あて名のお子さんについて、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず、最も利用したいと考える事業をお答えください。第2、第3希望がある場合は、あわせてお答えください。（〇は当てはまるものすべて）

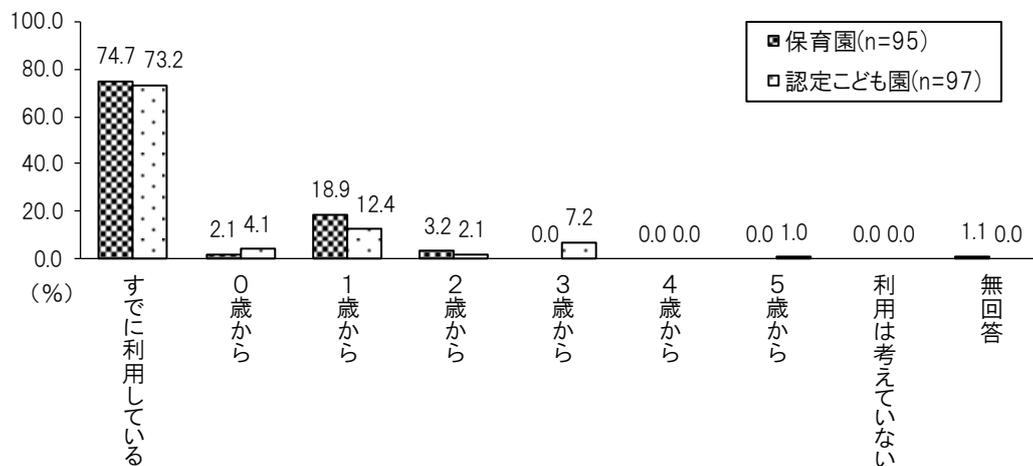
教育・保育事業の今後の利用意向の第1希望については、「認定こども園」が46.5%と最も高く、ほぼ並んで「保育園」（45.6%）が続いている。第2希望は「保育園」、第3希望は「小規模な保育施設」「認定こども園の預かり保育」の割合が高くなっている。



#### 4 希望する利用開始年齢

就問 13-1 お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。(○は1つ)

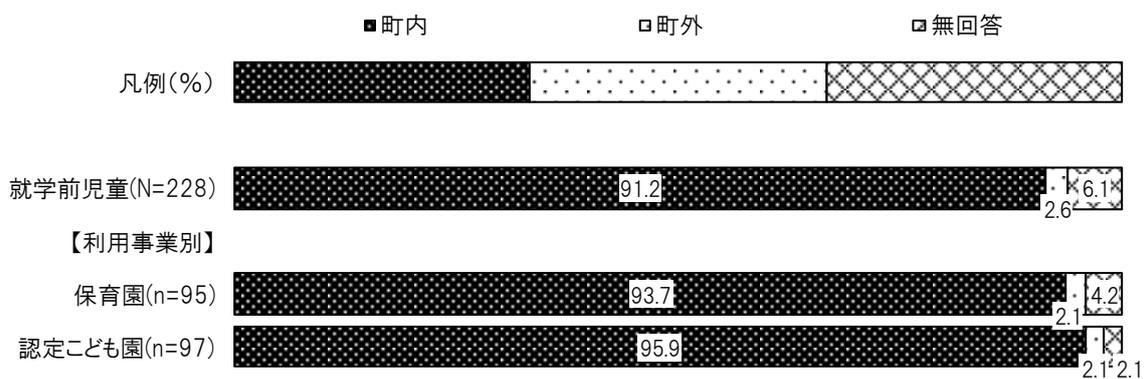
希望する利用開始年齢については、「1歳から」の割合が高くなっている。



#### 5 利用したい教育・保育事業の実施場所

就問 13-2 利用したいと思う教育・保育事業はどの地域ですか。(○は1つ)

利用したい教育・保育事業の実施場所については、保育園、認定こども園ともに「町内」が大半を占めている。

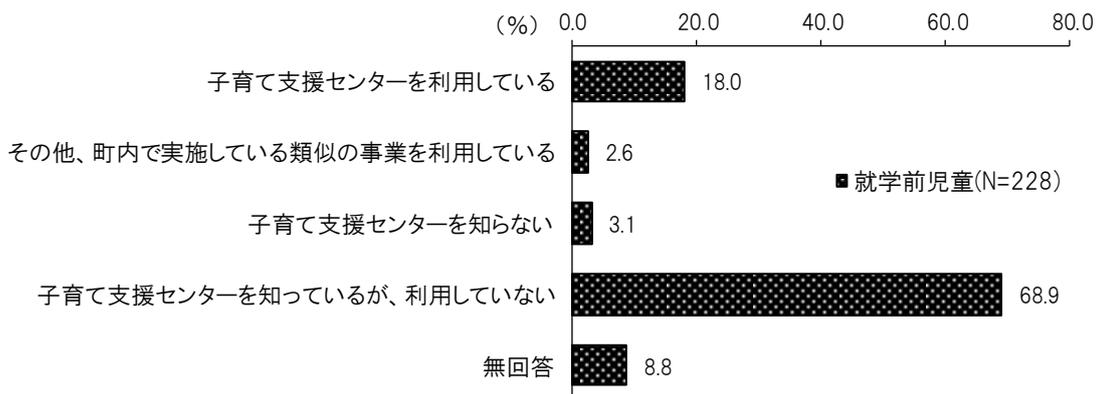


## 【4】 地域の子育て支援事業の利用状況について

### 1 子育て支援センターなどの利用状況

就問 14 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）などを利用していますか。（○は当てはまるものすべて）

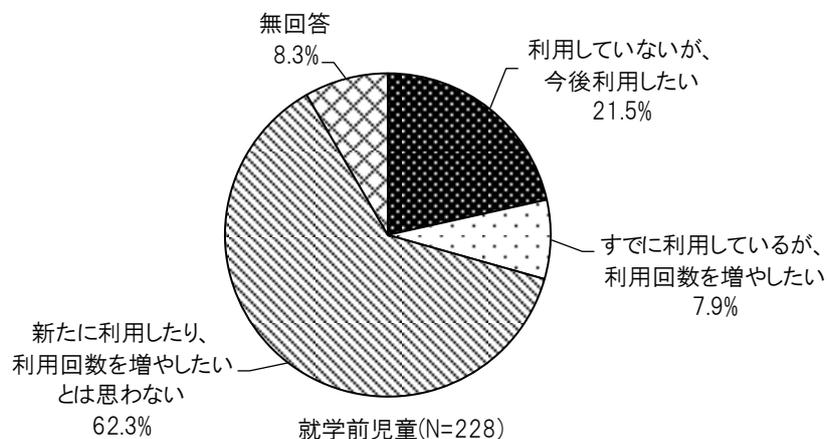
子育て支援センターについては、「利用している」が18.0%、「子育て支援センターを知っているが、利用していない」が68.9%となっている。



### 2 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

就問 15 子育て支援センターのような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。（○は1つ）

地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望については、「利用していないが、今後利用したい」が21.5%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」が7.9%、合計で約3割（29.4%）が利用を希望している。



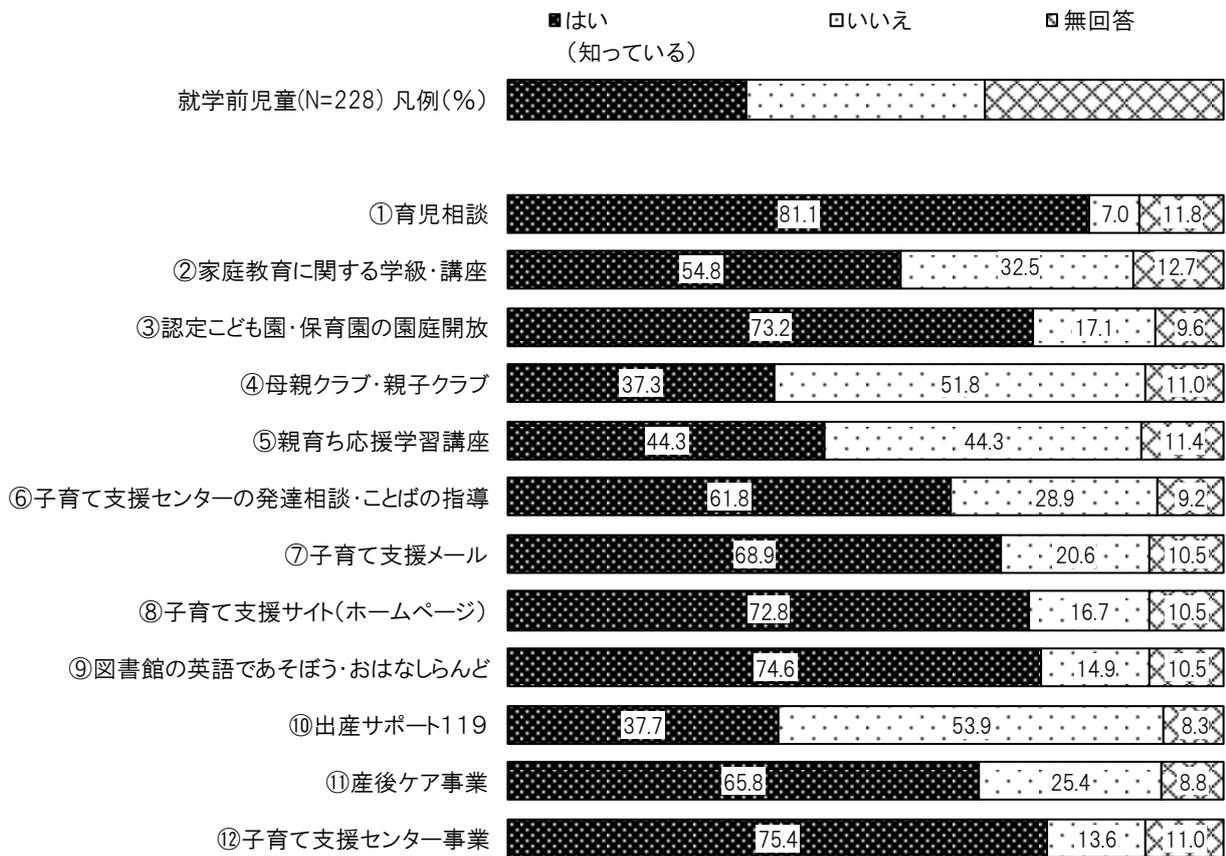
### 3 就学前児童の地域子育て支援拠点事業の認知状況・利用経験・利用意向

就問 16 下記の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。  
 (「はい」「いいえ」のどちらか1つに○)

#### (1) 認知状況

就学前児童の地域子育て支援拠点事業の認知率が高い順に、「①育児相談」(81.1%)、「⑫子育て支援センター事業」(75.4%)、「⑨図書館の英語であそぼう・おはなしらんど」(74.6%)、「③認定こども園・保育園の園庭開放」(73.2%)、「⑧子育て支援サイト(ホームページ)」(72.8%)となっている。

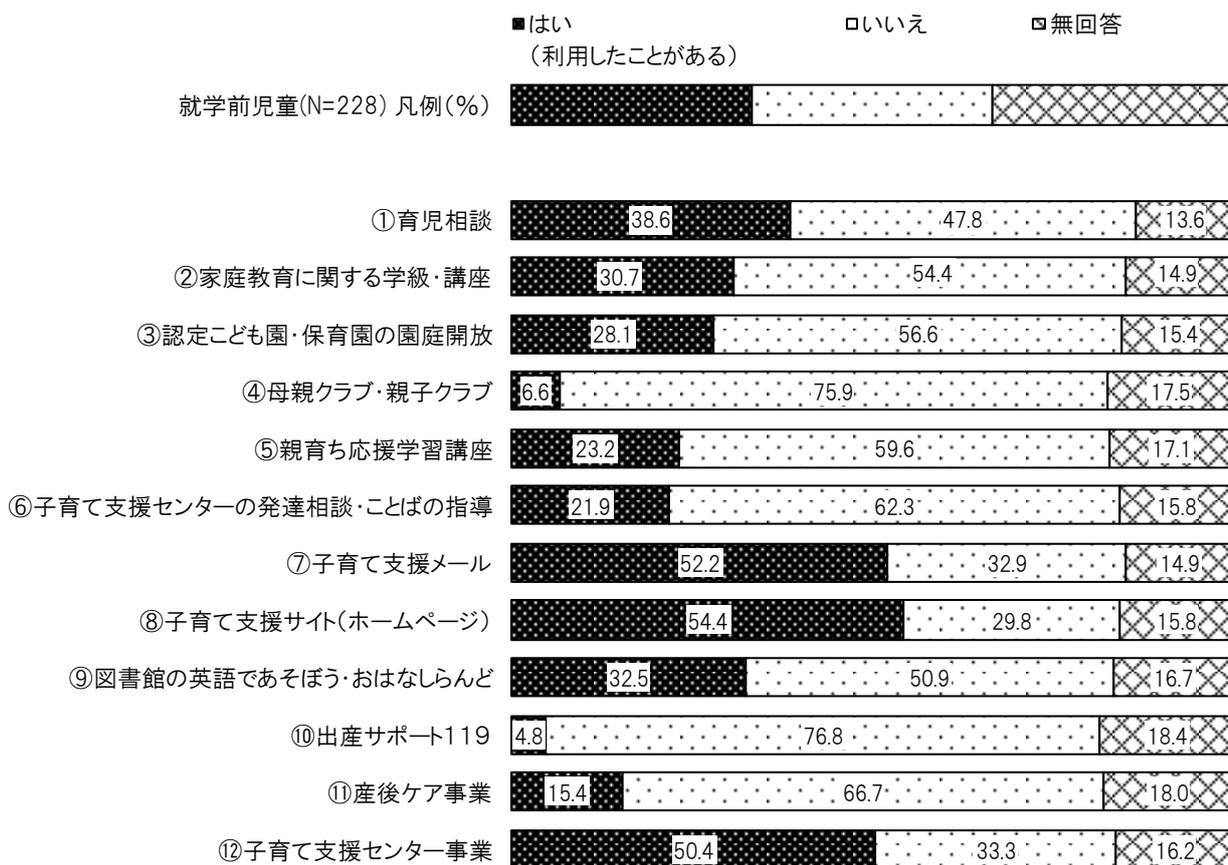
一方、「④母親クラブ・親子クラブ」「⑤親育ち応援学習講座」「⑩出産サポート119」は「いいえ」の割合が高くなっている。



## (2) 利用経験

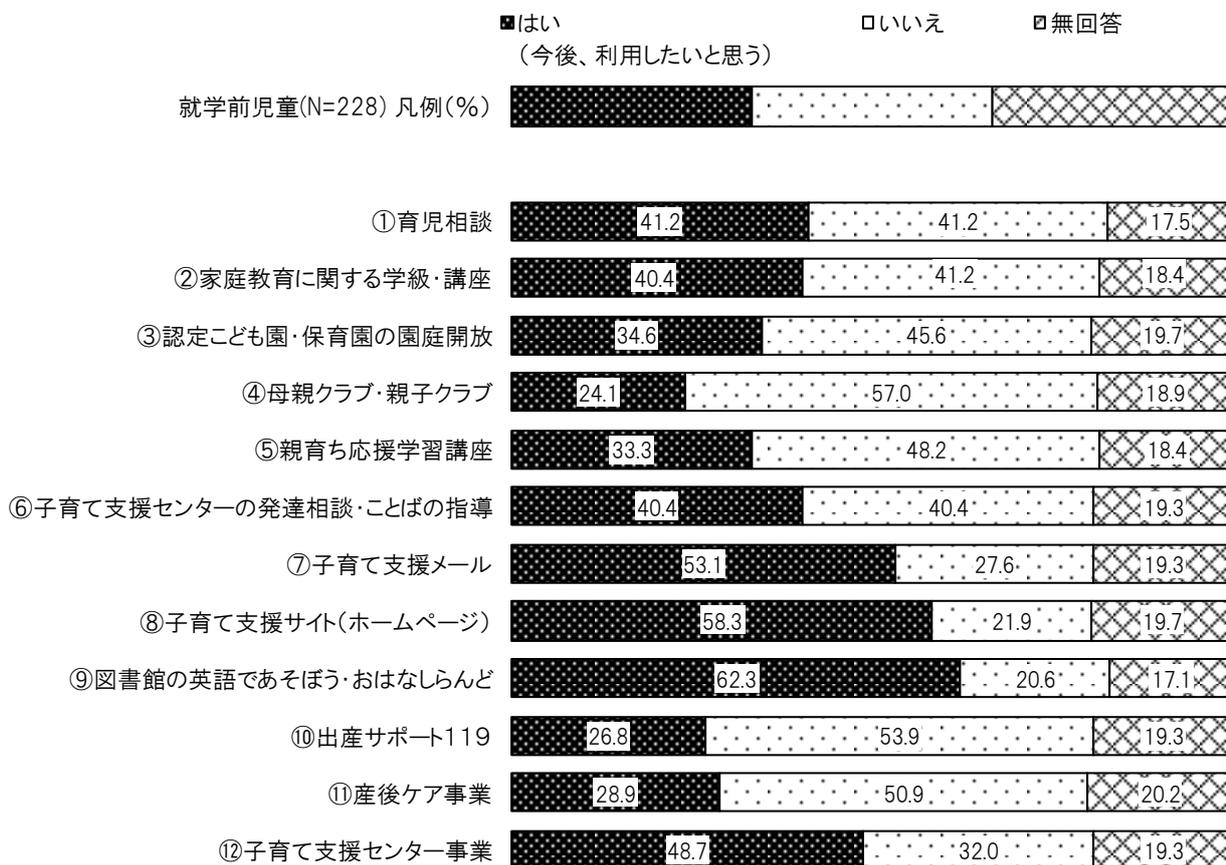
就学前児童の地域子育て支援拠点事業の利用率が高い順に、「⑧子育て支援サイト（ホームページ）」（54.4%）、「⑦子育て支援メール」（52.2%）、「⑫子育て支援センター事業」（50.4%）となっている。

一方、「④母親クラブ・親子クラブ」「⑩出産サポート119」は、7割以上が「いいえ」と回答している。



### (3) 利用意向

就学前児童の地域子育て支援拠点事業の利用意向が高い順に、「⑨図書館の英語であそぼう・おはなしらんど」(62.3%)、「⑧子育て支援サイト(ホームページ)」(58.3%)、「⑦子育て支援メール」(53.1%)、「⑫子育て支援センター事業」(48.7%)となっている。



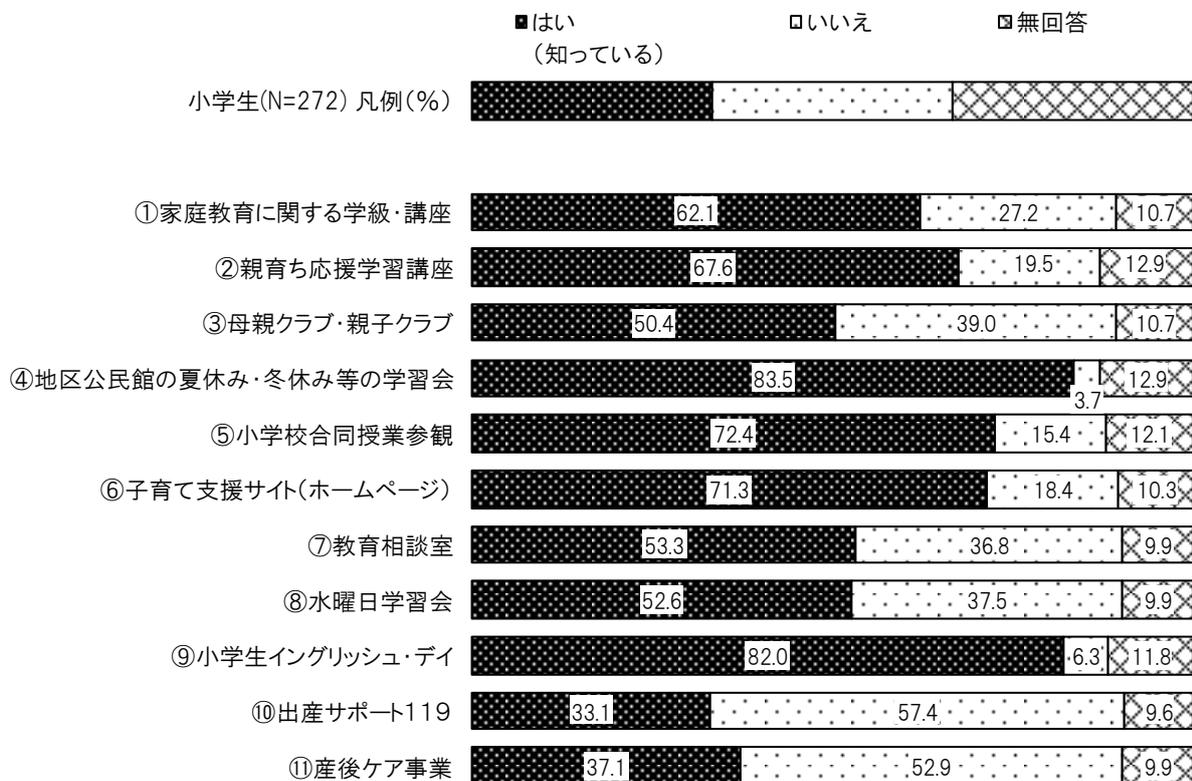
#### 4 小学生の地域子育て支援拠点事業の認知状況・利用経験・利用意向

小問 16 下記の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。  
 (「はい」「いいえ」のどちらか1つに○)

##### (1) 認知状況

小学生の地域子育て支援拠点事業の認知率が高い順に、「④地区公民館の夏休み・冬休み等の学習会」(83.5%)、「⑨小学生イングリッシュ・デイ」(82.0%)、「⑤小学校合同授業参観」(72.4%)、「⑥子育て支援サイト(ホームページ)」(71.3%)となっている。

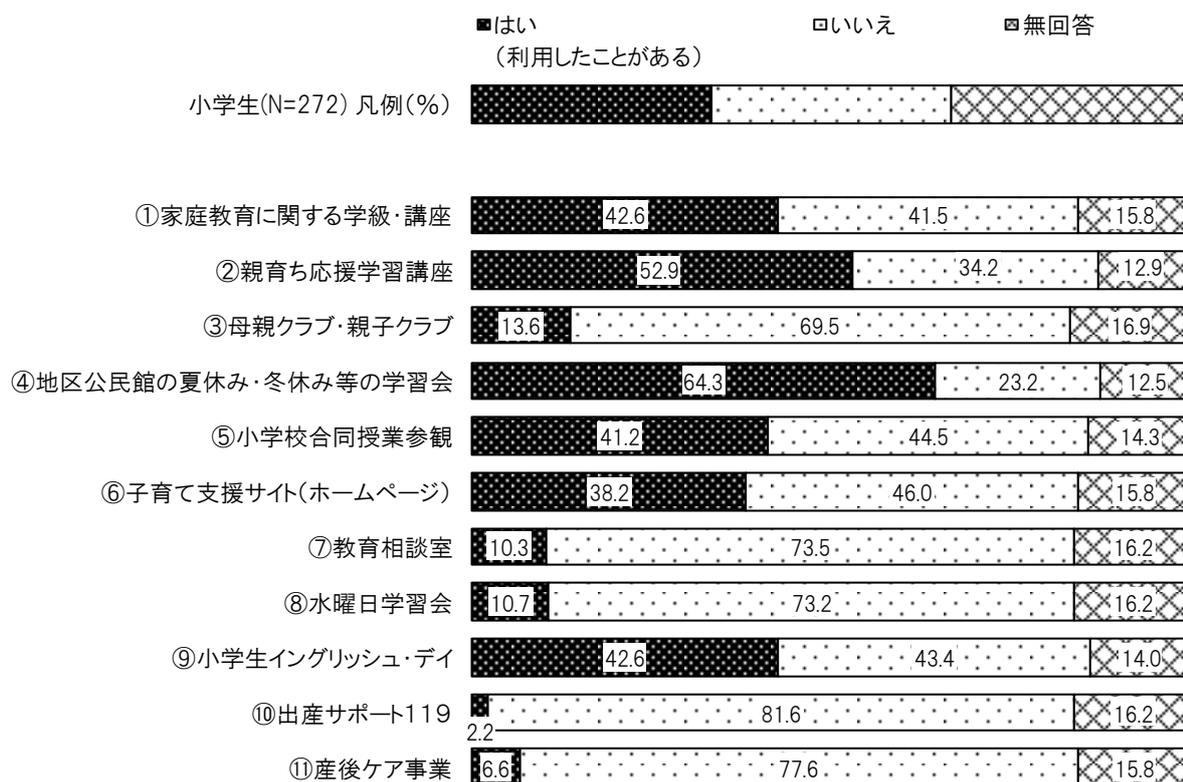
一方、「⑩出産サポート119」「⑪産後ケア事業」は「いいえ」の割合が高くなっている。



## (2) 利用経験

小学生の地域子育て支援拠点事業の利用率が高い順に、「④地区公民館の夏休み・冬休み等の学習会」(64.3%)、「②親育ち応援学習講座」(52.9%)となっている。

一方、「いいえ」の割合が高い順に、「⑩出産サポート119」(81.6%)、「⑪産後ケア事業」(77.6%)、「⑦教育相談室」(73.5%)、「⑧水曜日学習会」(73.2%)、「③母親クラブ・親子クラブ」(69.5%)となっている。



### (3) 利用意向

小学生の地域子育て支援拠点事業の利用意向が高い順に、「④地区公民館の夏休み・冬休み等の学習会」(60.3%)、「⑤小学校合同授業参観」(57.4%)、「⑥子育て支援サイト(ホームページ)」(50.0%)となっている。



## 【5】 病気の際の対応について

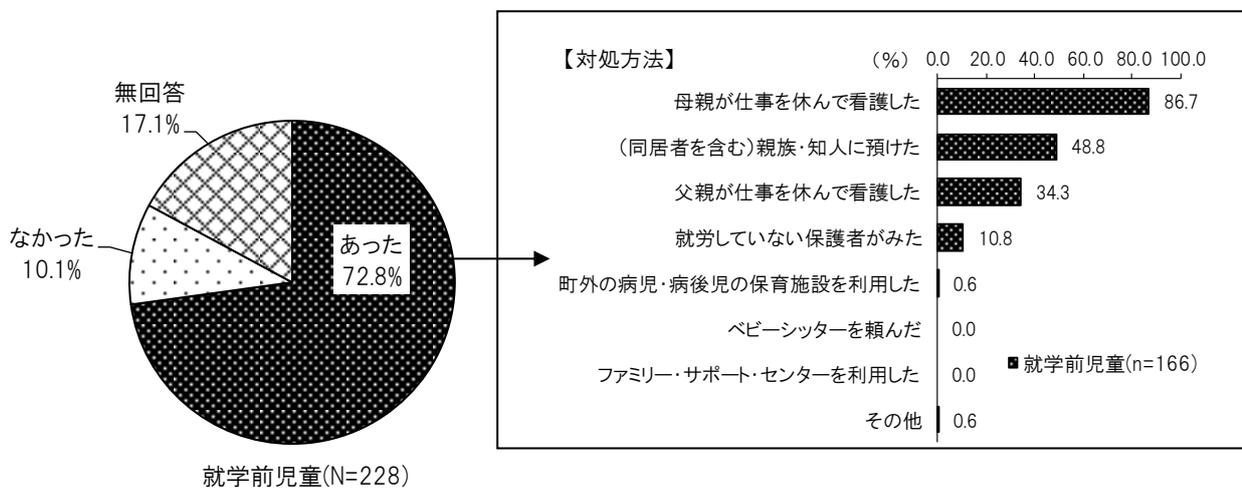
### 1 就学前児童の病気やケガの時の対応

【平日に認定こども園や保育園などを利用している方にうかがいます。】

就問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで認定こども園や保育園などを利用できなかったことはありましたか。(○は1つ)

就問 17-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育園などを利用できなかった場合に、どのように対応しましたか。(○は当てはまるものすべて)

最近1年間、病気やケガで認定こども園や保育所などを利用できなかった割合は7割以上(72.8%)を占めている。その時の対処方法として、8割以上(86.7%)が「母親が仕事を休んで看護した」と回答している。

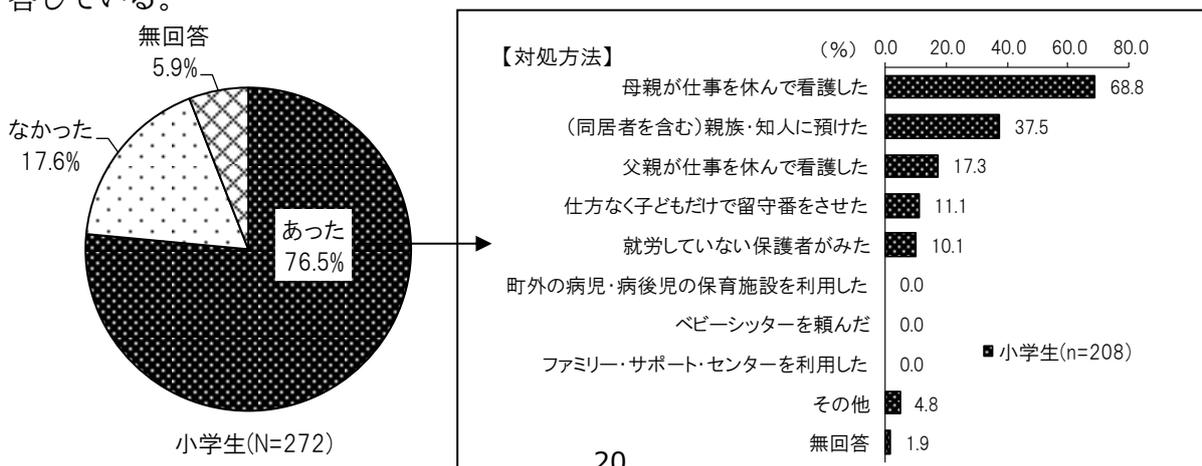


### 2 小学生の病気やケガの時の対応

小問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。(○は1つ)

小問 17-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合にどのように対応しましたか。(○は当てはまるものすべて)

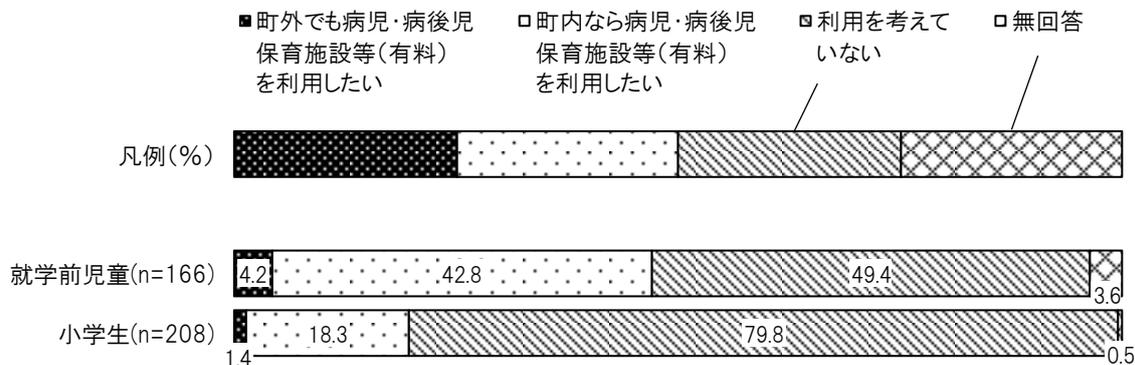
最近1年間、病気やケガで子どもが学校を休んだ割合は7割以上(76.5%)を占めている。その時の対処方法として、7割近く(68.8%)が「母親が仕事を休んで看護した」と回答している。



### 3 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

就問 17-2 (小問 17-2) お子さんが病気やケガで学校を休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。(○は1つ)

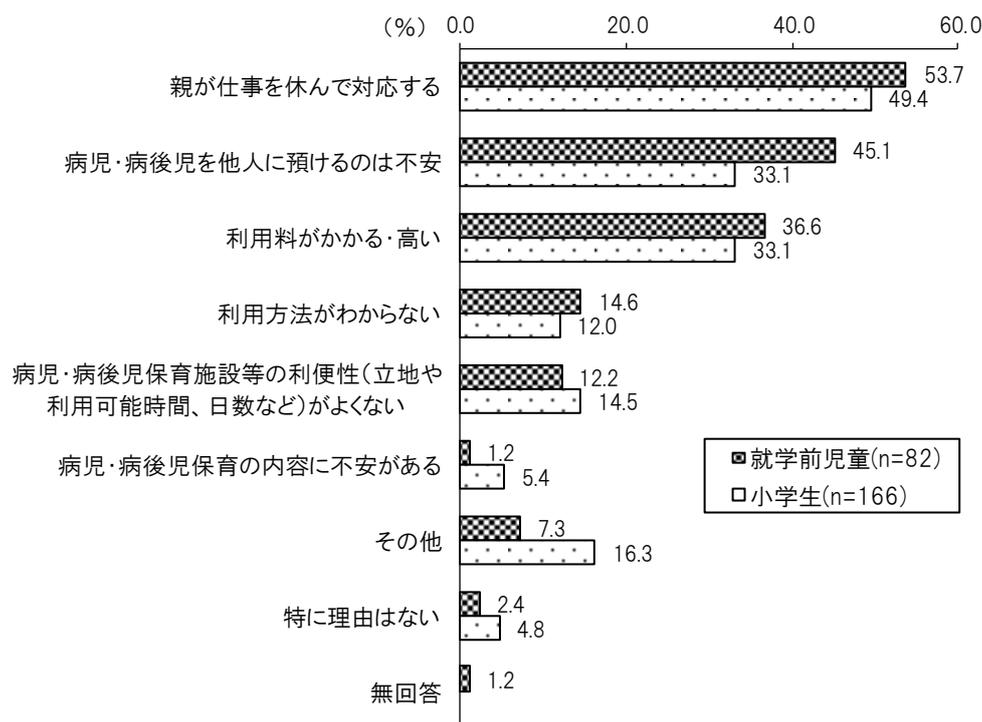
病児・病後児のための保育施設等の利用意向は、町内外の病児・病後児保育施設について「利用したい」割合は、就学前児童で47.0%、小学生で19.7%となっている。



### 4 病児・病後児保育施設等を利用しない理由

【病児・病後児のための保育施設の利用を考えていない方にうかがいます。】  
 就問 17-3 (小問 17-3) 利用を考えていない理由を回答してください。(○は当てはまるものすべて)

病児・病後児保育施設等を利用しない理由については、就学前児童、小学生の保護者ともに、「親が仕事を休んで対応する」が最も高く、次いで「病児・病後児を他人に預けるのは不安」「利用料がかかる・高い」が続いている。

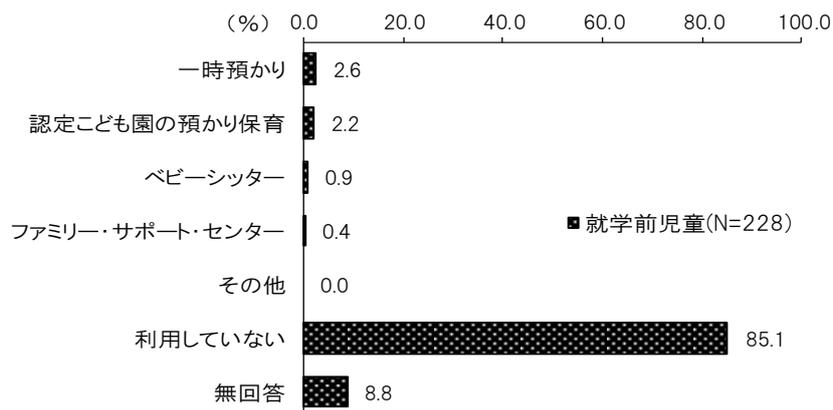


## 【6】就学前児童の不定期の保育サービスの利用について

### 1 一時預かりなどの利用状況

就問 18 あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。(○は当てはまるものすべて)

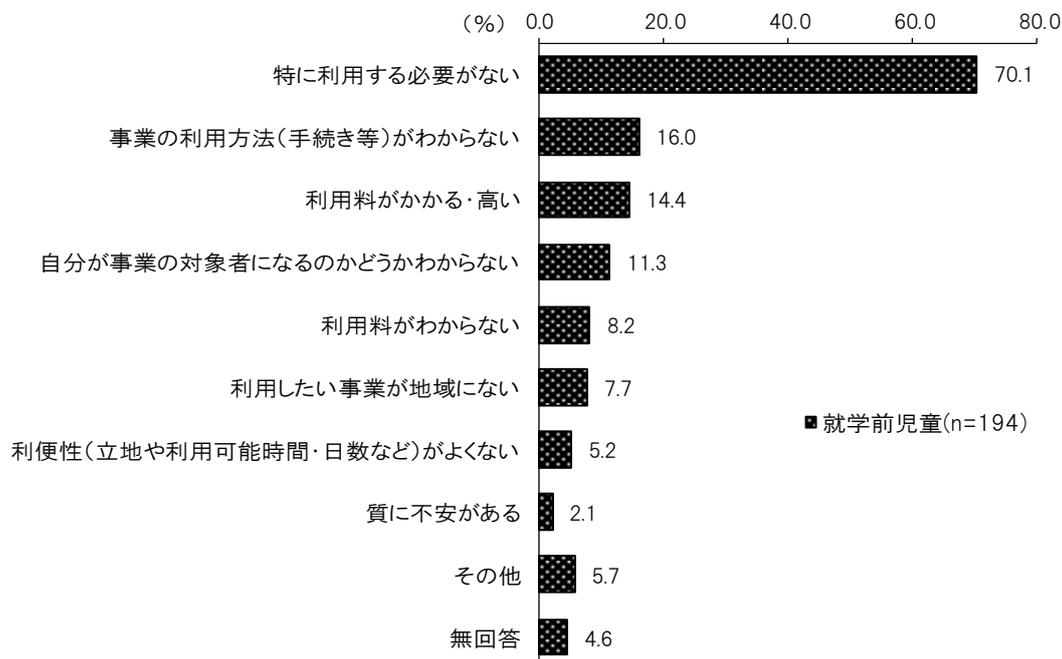
この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスとしては、「一時預かり」が2.6%、「認定こども園の預かり保育」が2.2%となっているが、大半は「利用していない」と回答している。



### 2 一時預かりなどを利用していない理由

就問 18-1 あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。(○は当てはまるものすべて)

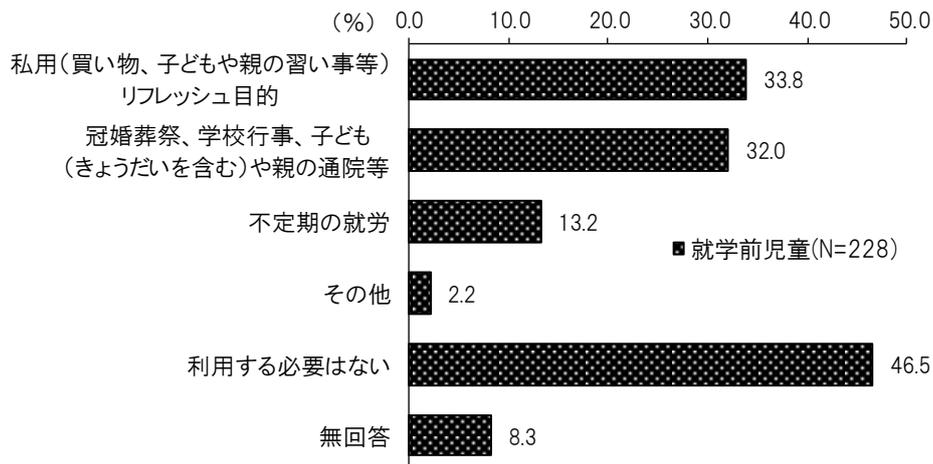
一時預かりなどを利用していない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が70.1%と突出して最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(16.0%)、「利用料がかかる・高い」(14.4%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(11.3%)が続いている。



### 3 有料での一時預かりなどの利用意向

就問 19 あて名のお子さんについて、一定の利用料の負担があったとしても、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか。（○は当てはまるものすべて）

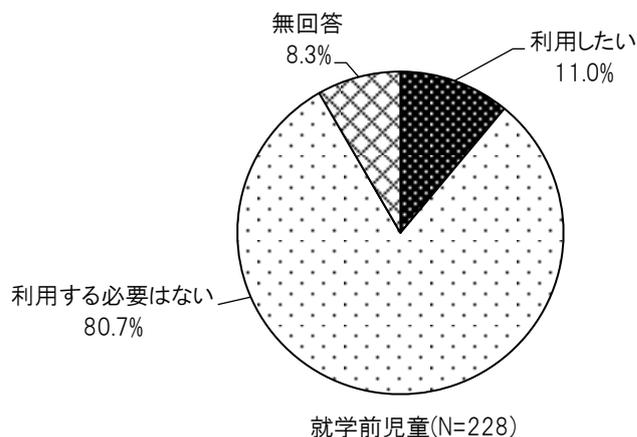
有料での一時預かりなどの利用意向については、「私用（買い物、子どもや親の習い事等）リフレッシュ目的」（33.8%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等」（32.0%）、「不定期の就労」（13.2%）の順に高くなっている。



### 4 短期入所生活援助事業の利用意向

就問 20 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気等）により、あて名のお子さんを泊まりがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてお伺いします。利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。（○は当てはまるものすべて）

短期入所生活援助事業の利用意向は約 1 割（11.0%）となっており、大半が「利用する必要はない」と回答している。

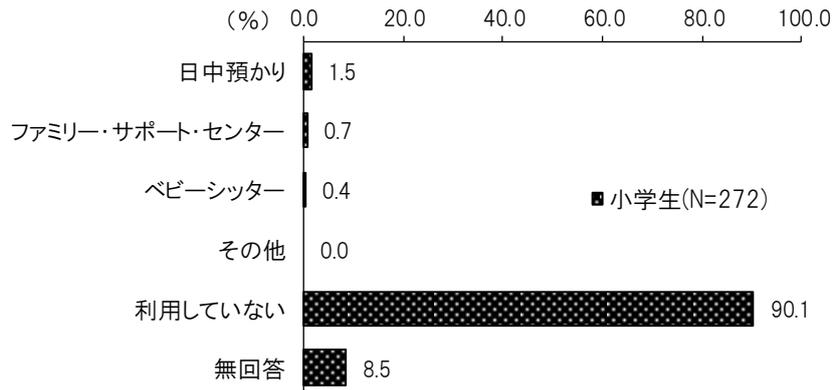


## 【7】小学生の不定期の保育サービスの利用について

### 1 一時預かりなどの利用状況

小問 18 あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。(○は当てはまるものすべて)

この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスとしては、「日中預かり」が1.5%、「ファミリー・サポート・センター」が0.7%となっているが、大半は「利用していない」と回答している。



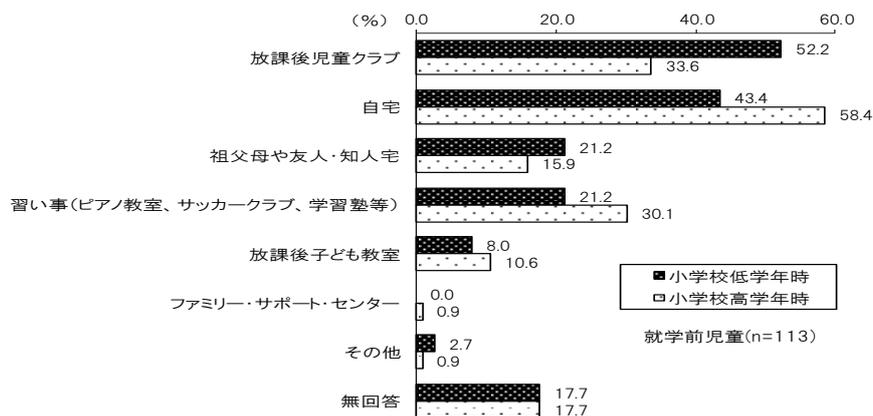
## 【8】就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方について

### 1 小学校入学後に希望する放課後の過ごし方

就問 21 あて名のお子さんについて、小学1～3年生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○は当てはまるものすべて)

就問 22 あて名のお子さんについて、小学4～6年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。かなり先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。(○は当てはまるものすべて)

希望する放課後の過ごし方として、小学校低学年時では「放課後児童クラブ」(52.2%)に次いで「自宅」(43.4%)などで過ごさせたい保護者が多くなっている。しかし、小学校高学年時になると、「自宅」(58.4%)の割合が高くなっている。

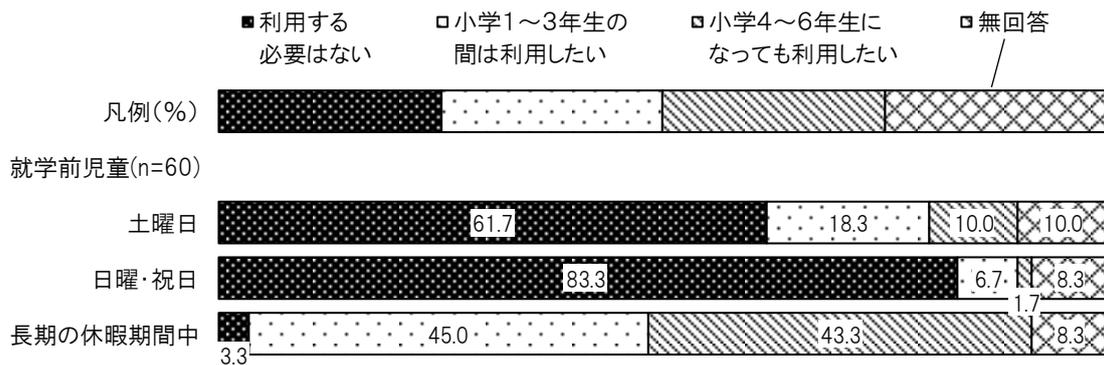


## 2 放課後児童クラブの利用希望

【放課後児童クラブを利用したい方にかがいます。】

就問 23 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期休暇期間に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○1つ)

放課後児童クラブの利用希望(「利用したい」の合計)について、土曜日は28.3%、日曜・祝日は8.4%、長期の休暇期間中は88.3%となっており、長期休暇中においては大半が利用を希望している。

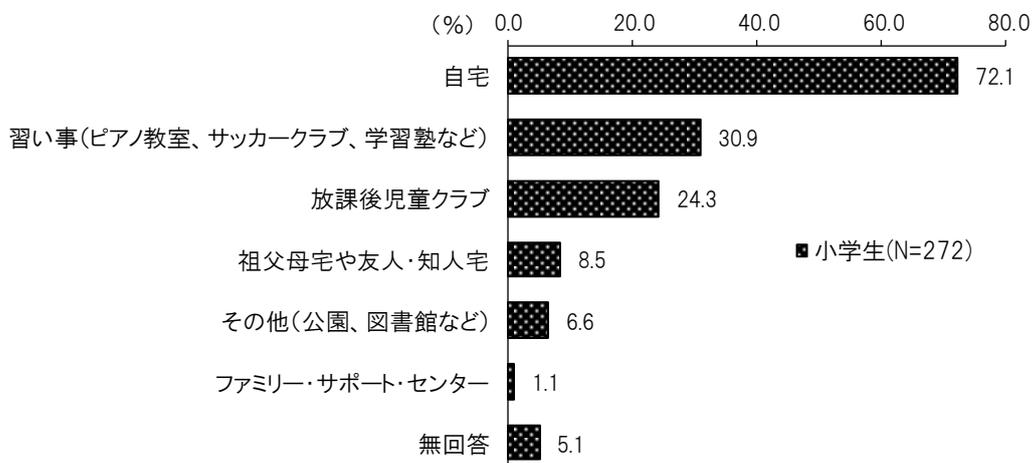


## 【9】小学生の放課後の過ごし方について

### 1 放課後を過ごす場所

小問 13 あて名のお子さんについて、現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごされていますか。合計して週5日となるようにお答えください。(○は当てはまるものすべて)

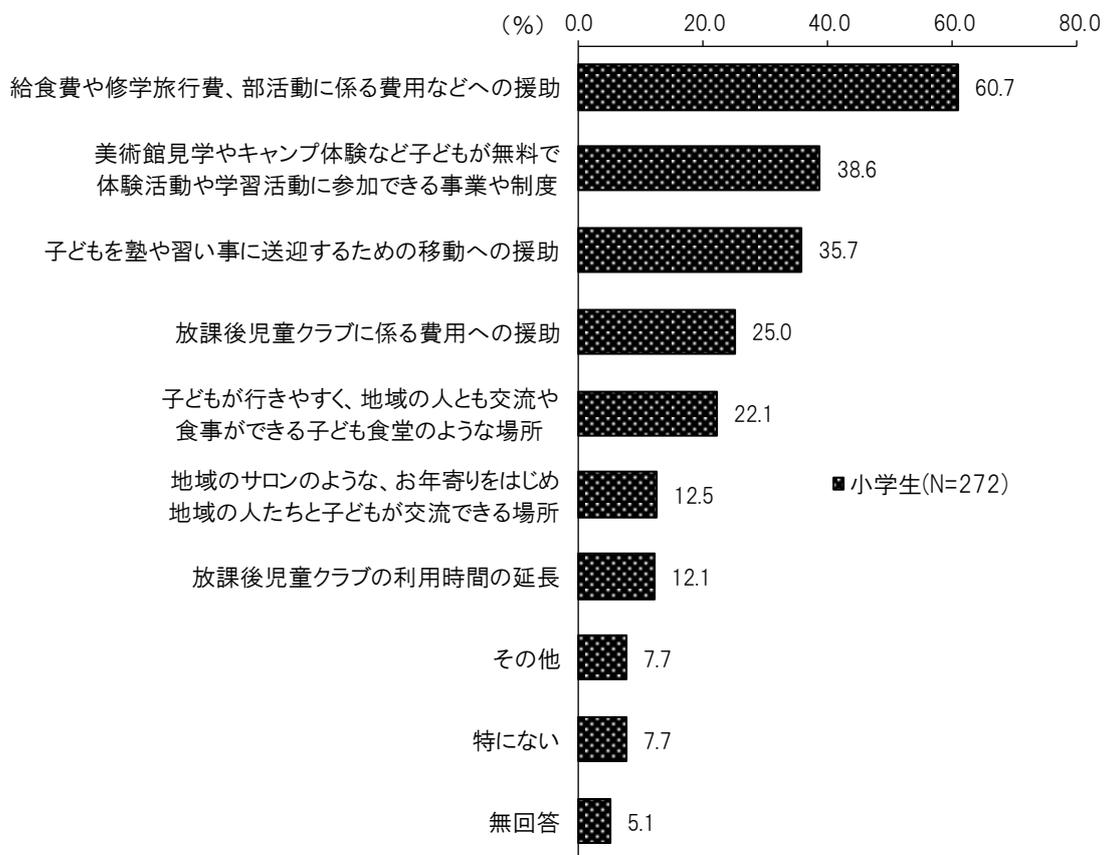
放課後の過ごし方としては、「自宅」が72.1%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(30.9%)、「放課後児童クラブ」(24.3%)が続いている。



## 2 必要と感じる地域の子育て支援

小問 14 あなたがお子さんを育てるうえで必要だと感じている支援や、地域にあればすぐにでも利用したいと思うものは、どのようなものですか。（○は5つまで）

必要と感じる地域の子育て支援としては、「給食費や修学旅行費、部活動に係る費用などへの援助」が60.7%と最も高く、次いで「美術館見学やキャンプ体験など子どもが無料で体験活動や学習活動に参加できる事業や制度」（38.6%）、「子どもを塾や習い事へ送迎するための移動への援助」（35.7%）、「放課後児童クラブに係る費用への援助」（25.0%）、が続いている。



## 【10】小学生の放課後児童クラブの現在の利用状況について

### 1 放課後児童クラブの利用状況等

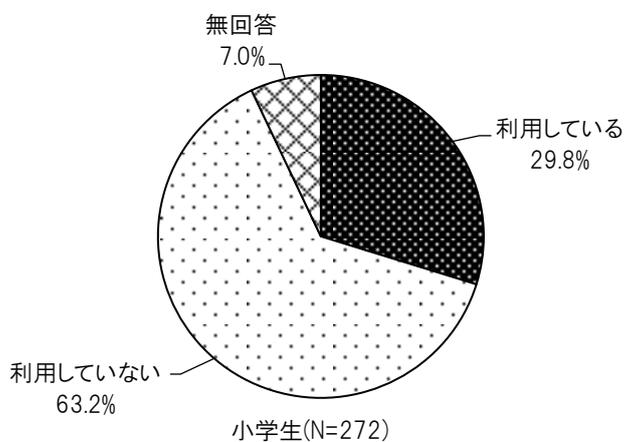
小問 15 あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。

(○は1つ)

小問 15-1 利用の状況を回答してください。

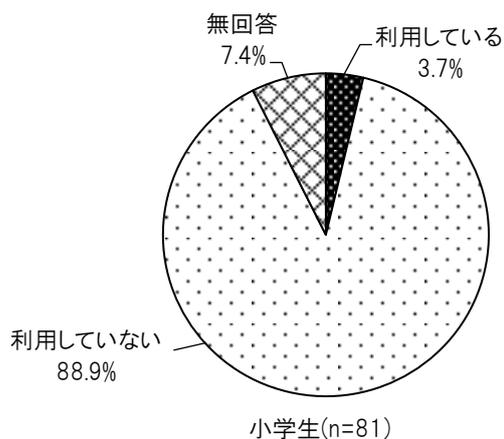
#### (1) 放課後児童クラブの利用状況

小学生における放課後児童クラブの利用は、約3割(29.8%)が「利用している」と回答している。週当たりの平均利用日数は、平日で3.6日、長期休暇中で4.2日となっている。



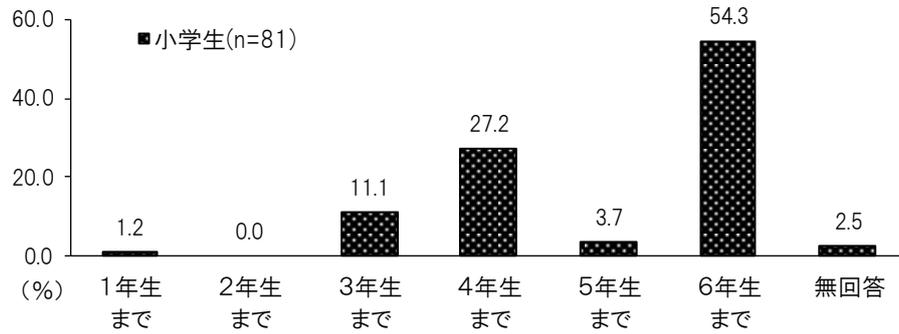
#### (2) 土曜日の利用状況

土曜日の利用者は3.7%となっている。



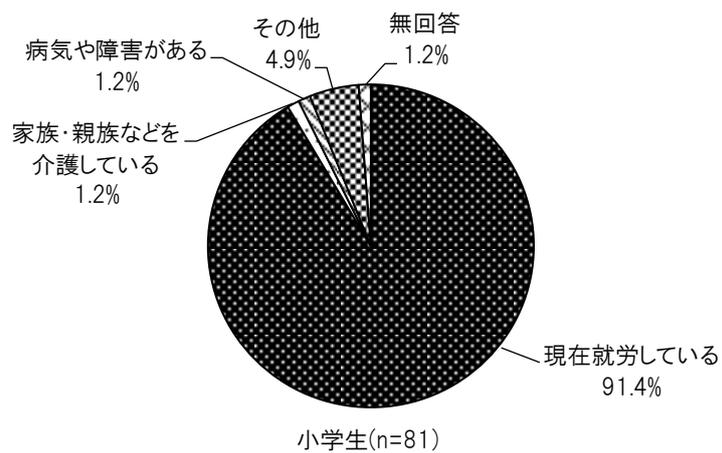
### (3) 利用希望学年

利用したい学年は「6年生まで」が最も多くなっている。



### (4) 利用理由

放課後児童クラブの利用理由としては、「現在就労している」が大半 (91.4%) を占めている。



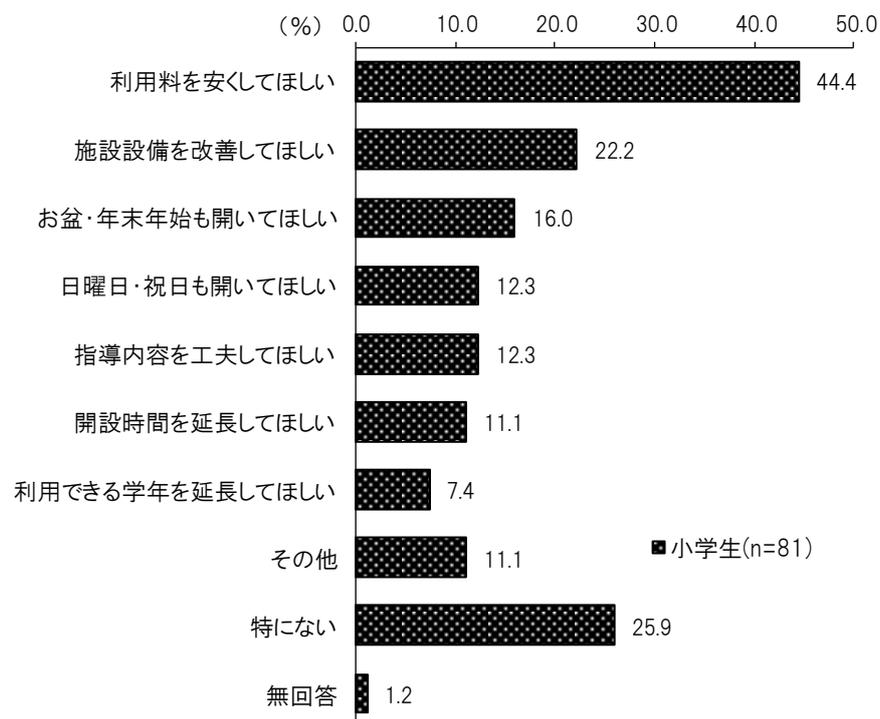
## 2 放課後児童クラブへの要望

【放課後児童クラブを利用している方にかがいます。】

小問 15-2 現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。

(○は当てはまるものすべて)

利用者における放課後児童クラブへの要望としては、「利用料を安くしてほしい」が44.4%と最も高く、次いで「施設設備を改善してほしい」(22.2%)、「お盆・年末年始も開いてほしい」(16.0%)、「日曜日・祝日も開いてほしい」「指導内容を工夫してほしい」(各12.3%)が続いている。

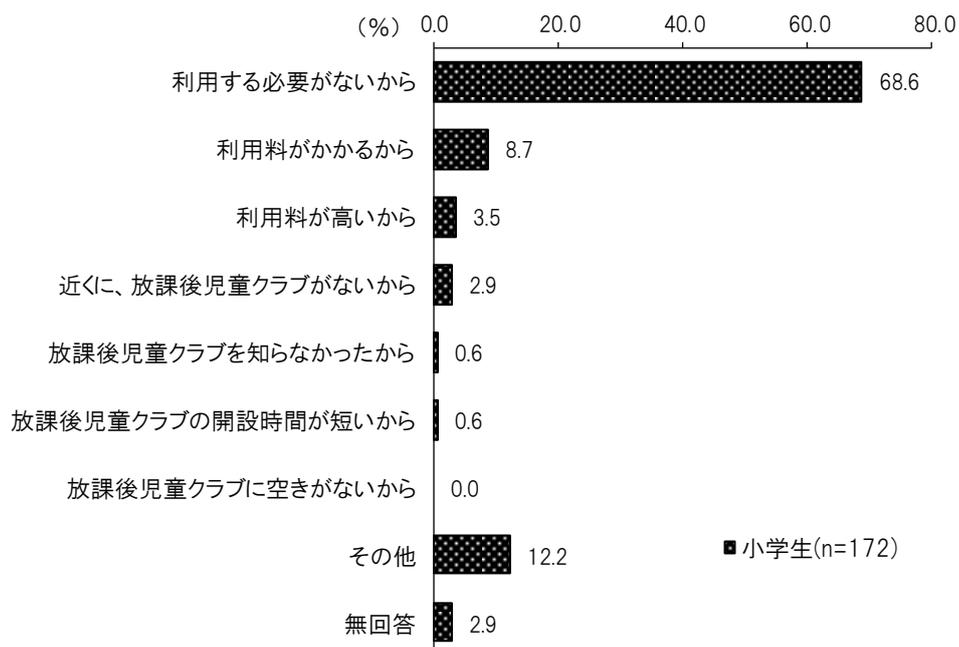


### 3 放課後児童クラブを利用していない理由

【放課後児童クラブを利用していない方にうかがいます。】

小問 15-3 放課後児童クラブを利用していないのはなぜですか。(○は主な理由1つ)

現在、放課後児童クラブを利用していない人は6割以上(63.2%)であるが(小問15)、その理由としては「利用する必要がないから」が68.6%と突出して高くなっている。また、「利用料がかかるから」(8.7%)、「利用料が高いから」(3.5%)と料金についての理由が続いている。

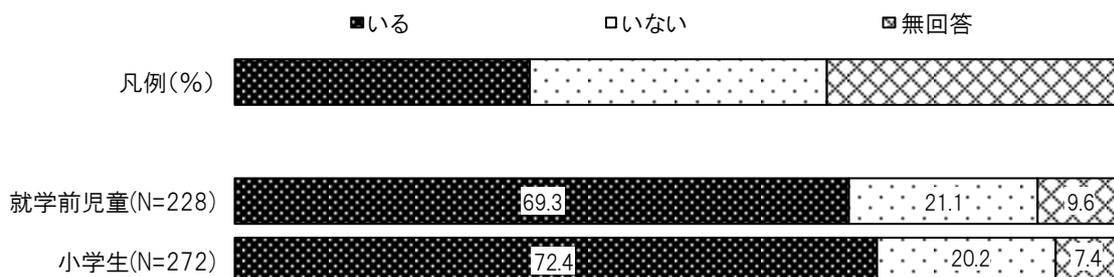


## 【11】子育て全般について

### 1 子育て仲間の有無

就問 24 (小問 19) あなたは子どもと一緒に遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいますか。(○は1つ)

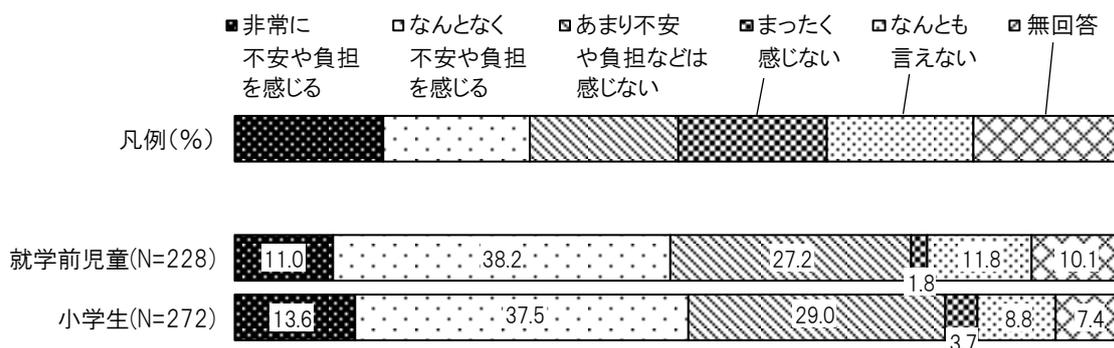
子育て仲間の有無については、就学前児童、小学生の保護者ともに「いる」が約7割を占めているが、約2割が「いない」と回答している。



### 2 子育てに関する不安や負担感

就問 25 (小問 21) 子育てに関して不安や負担を感じますか。(○は1つ)

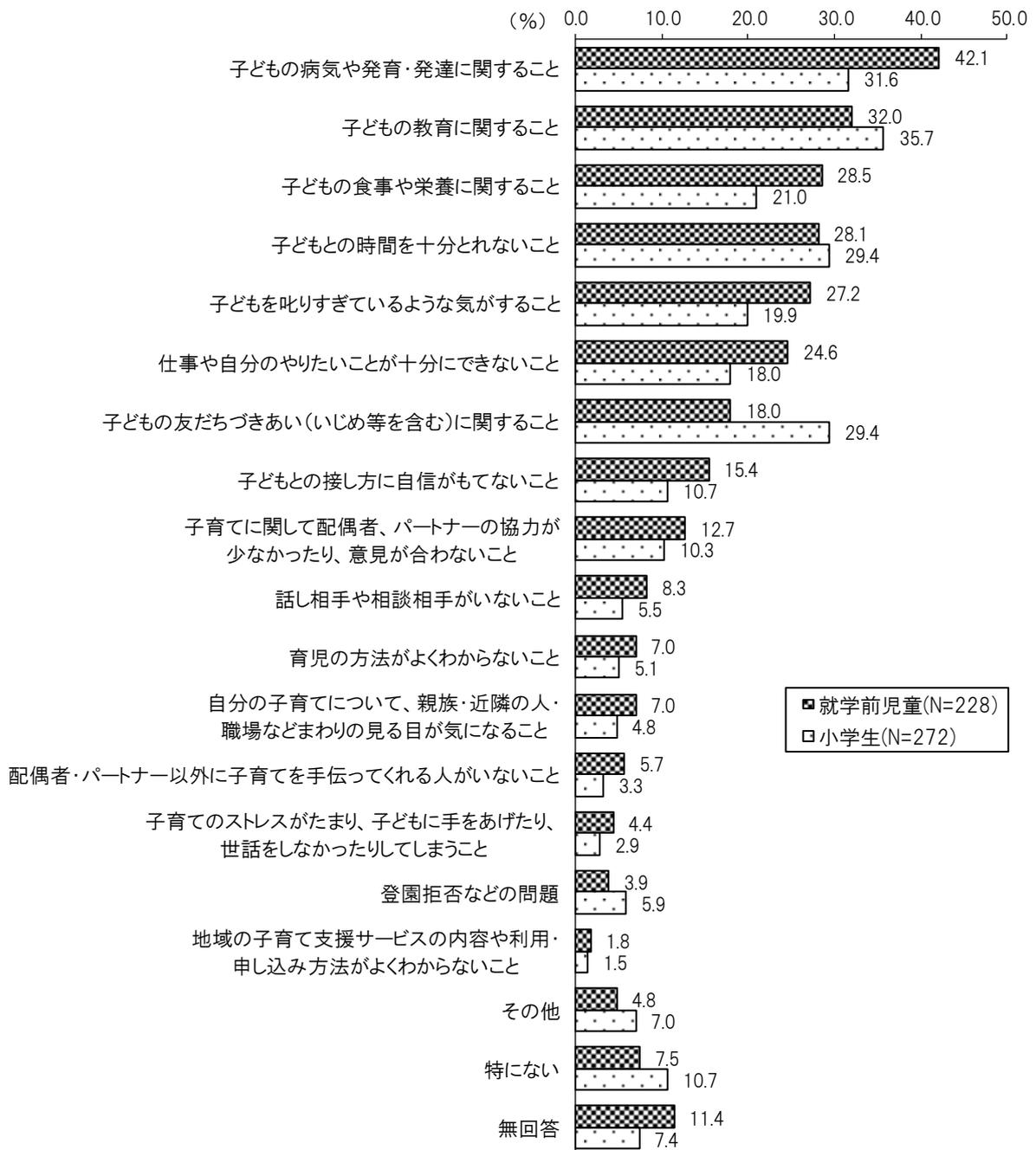
子育てに関して不安や負担を感じる割合は、就学前児童、小学生の保護者ともに、約半数を占めている。



### 3 子育てに関する不安や悩み

就問 26 (小問 23) 子育てに関して、不安や悩んでいることはどのようなことですか。  
(○は当てはまるものすべて)

子育てに関する不安や悩みについて、就学前児童の保護者では「子どもの病気や発育・発達に関すること」(42.1%)、小学生の保護者では「子どもの教育に関すること」(35.7%)がそれぞれ最も高くなっている。また、特に小学生で「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」の割合が高くなっている。



#### 4 家事・育児の役割分担の状況

就問 27 (小問 22) 家事・子育てに関する役割分担について、当てはまる数字 (0、1、2 等の整数) をご記入ください。

家事・育児の役割分担の状況について、就学前児童、小学生の保護者ともに、父親に比べて母親の家事負担は約3倍程度、育児負担は2倍以上の差がある。

##### 就学前児童

注：「①+②+③=10」になるように記入

【母親が感じている 役割分担】	①母親	②父親	③その他 (祖父母等)
	平均	平均	平均
家事	6.7	2.0	1.5
育児	6.5	2.4	1.2

【父親が感じている 役割分担】	①母親	②父親	③その他 (祖父母等)
	平均	平均	平均
家事	6.4	2.5	1.3
育児	6.2	2.6	1.3

##### 小学生

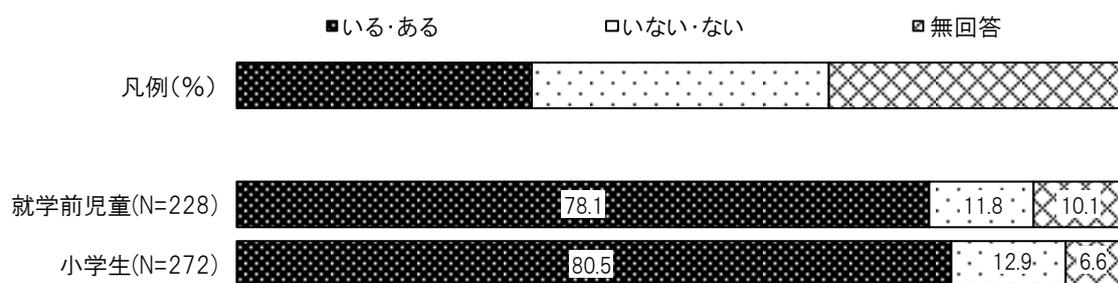
【母親が感じている 役割分担】	①母親	②父親	③その他 (祖父母等)
	平均	平均	平均
家事	6.8	1.9	1.6
育児	6.5	2.4	1.3

【父親が感じている 役割分担】	①母親	②父親	③その他 (祖父母等)
	平均	平均	平均
家事	6.7	2.2	1.4
育児	6.4	2.7	1.2

## 5 子育てについての相談先の有無

就問 28 (小問 20) 子育て(教育を含む)をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

子育てについての相談先が「いる・ある」割合は、就学前児童、小学生の保護者ともに、約8割となっている。

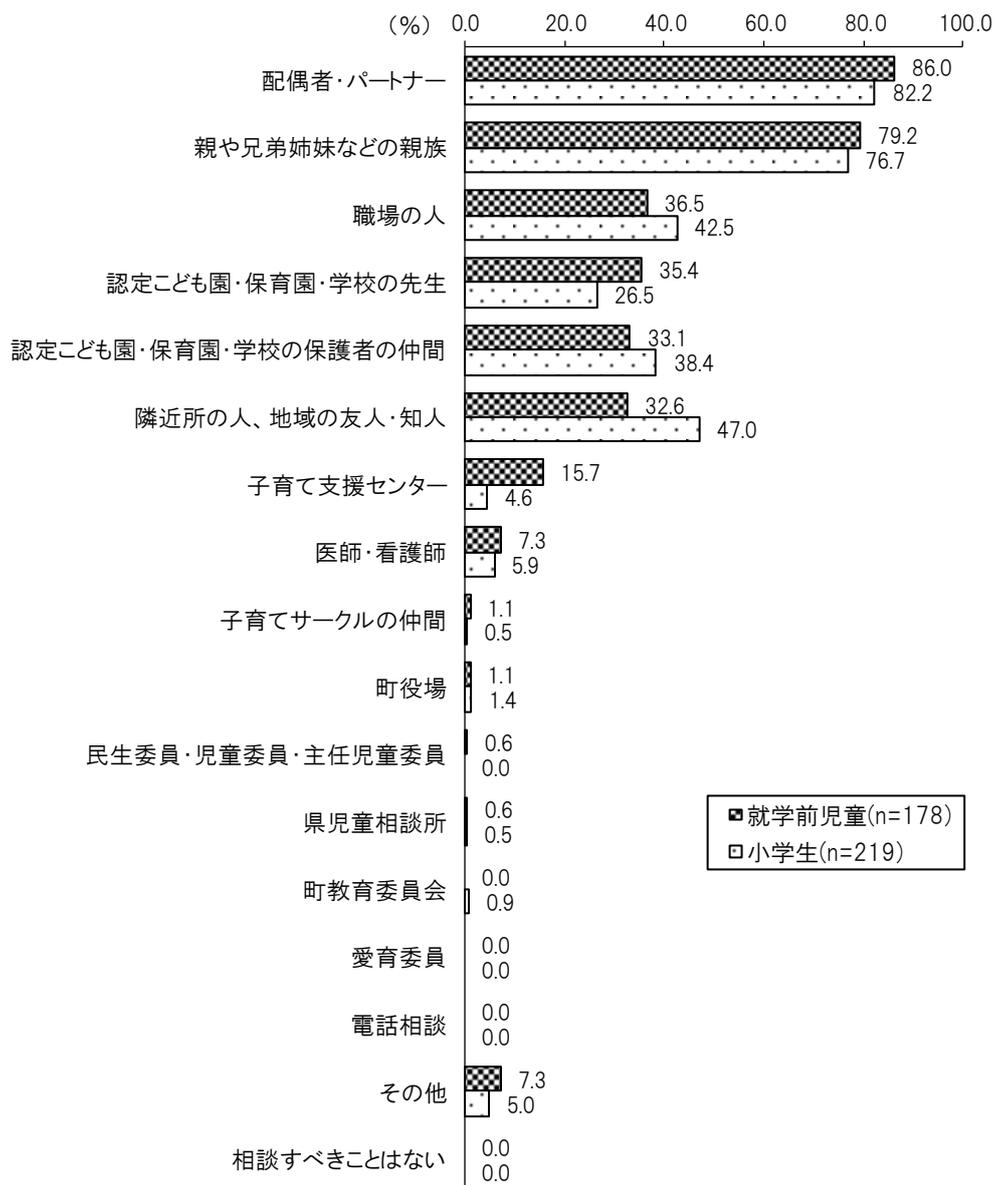


## 6 子育てについての相談先

【相談先がある方にうかがいます。】

就問 28-1 (小問 20-1) お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(○は当てはまるものすべて)

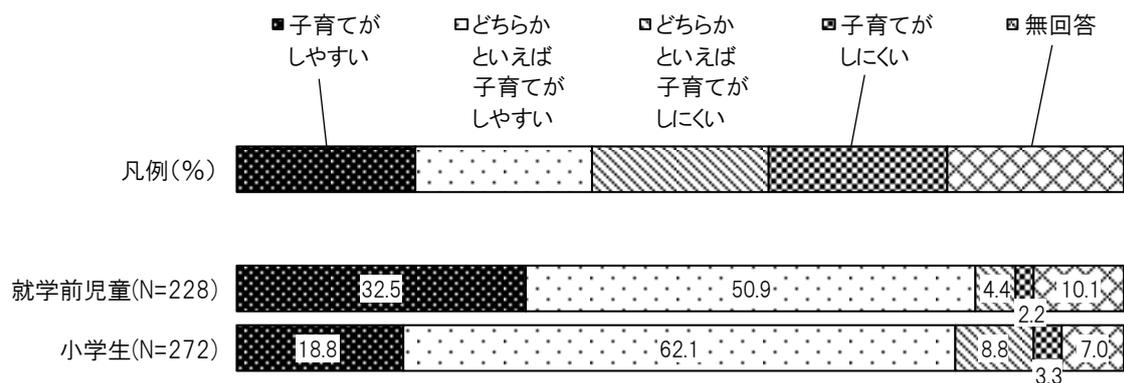
子育てについての相談先については、就学前児童、小学生の保護者ともに、「配偶者・パートナー」の割合が最も高く、次いで「親や兄弟姉妹などの親族」が続いている。また、特に小学生の保護者で「隣近所の人、地域の友人・知人」の割合が高くなっている。



## 7 矢掛町での子育てのしやすさ

就問 29 (小問 24) 矢掛町は子育てがしやすい町だと思いますか。(○は1つ)

矢掛町での子育てのしやすさについては、就学前児童、小学生の保護者ともに、8割以上が『子育てがしやすい(「子育てがしやすい」「どちらかといえば子育てがしやすい」の合計)』と回答しており、特に就学前児童の保護者の3割以上(32.5%)が「子育てがしやすい」と回答している。



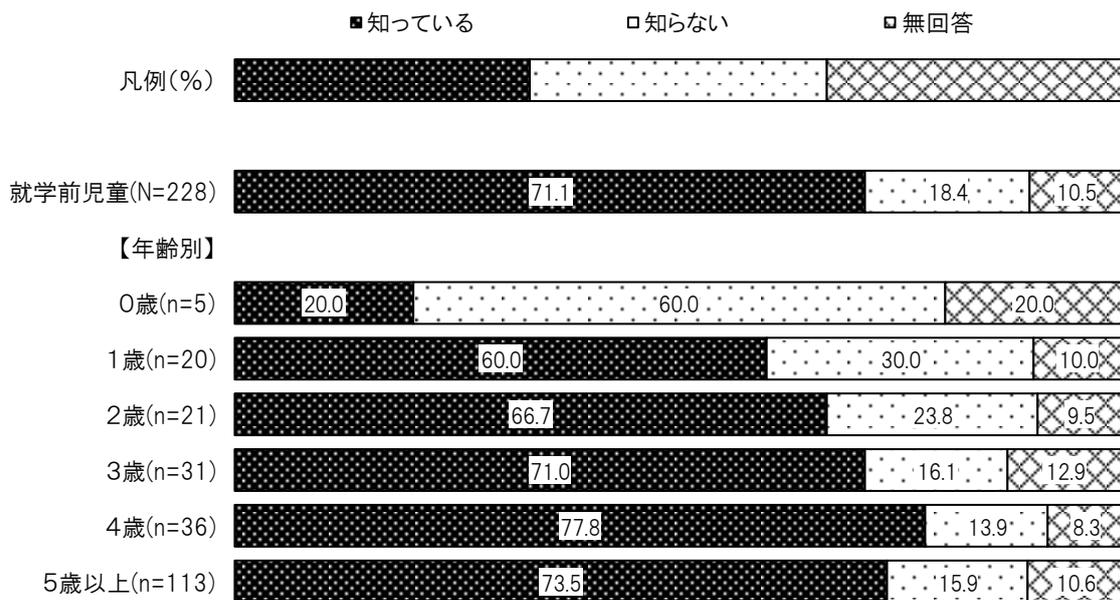
## 【12】療育について

### 1 児童発達支援などの療育の認知状況

就問 30 児童発達支援などの療育について知っていますか。(○は1つ)

児童発達支援などの療育の認知状況については、約7割(71.1%)が「知っている」と回答している。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなる傾向にある。



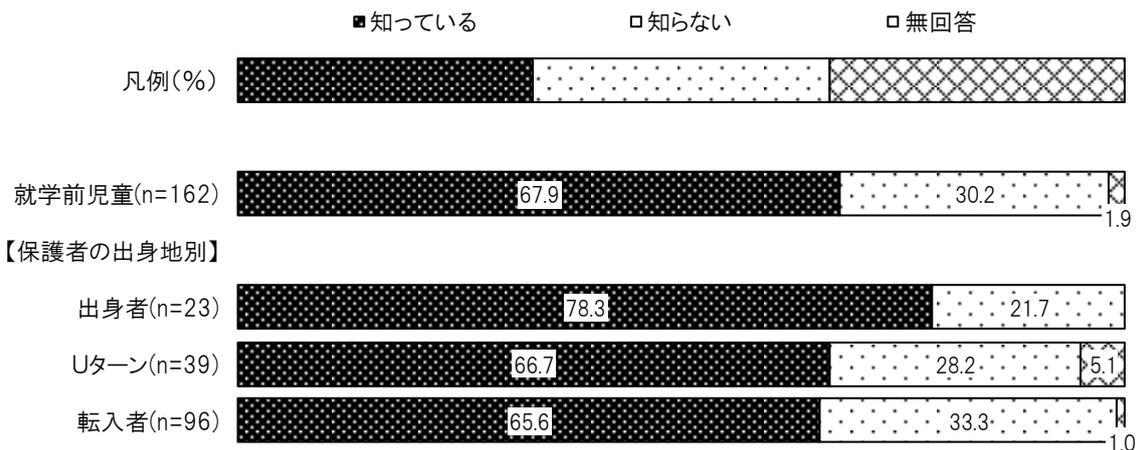
## 2 町内の児童発達支援事業所の認知状況

【療育を知っている方にうかがいます。】

就問 30-1 町内に児童発達支援事業所があることは知っていますか。(○は1つ)

町内の児童発達支援事業所の認知状況については、「知っている」が約7割(67.9%)となっており、3割(30.2%)が「知らない」と回答している。

保護者の出身地別では、矢掛町の出身者で「知っている」の割合が他の層に比べて高くなっている。

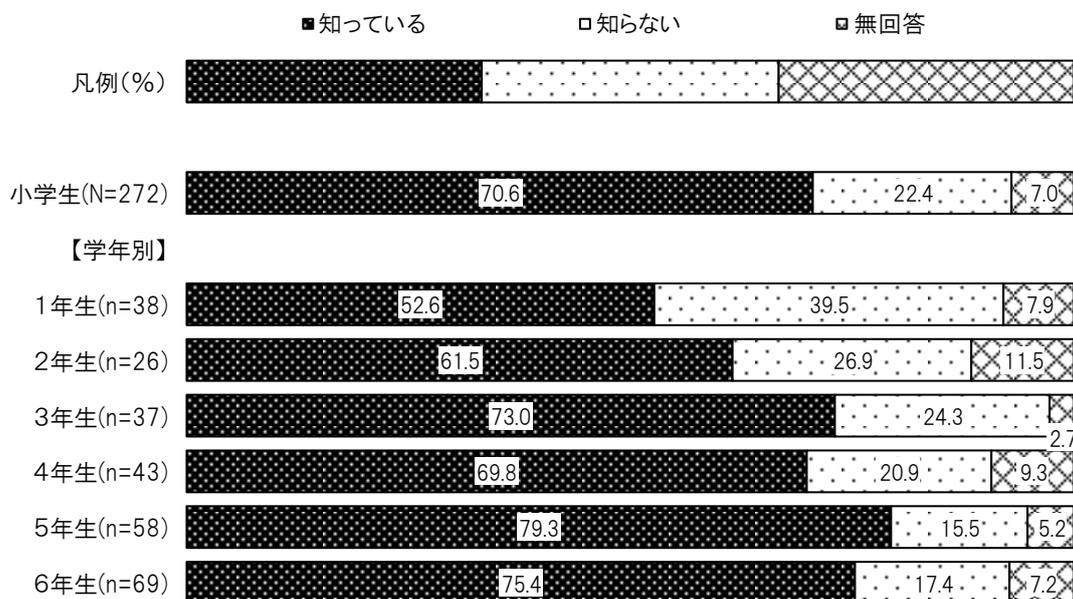


## 3 放課後等デイサービスなどの療育の認知状況

小問 25 放課後等デイサービスなどの療育について知っていますか。(○は1つ)

放課後等デイサービスなどの療育の認知状況については、7割(70.6%)が「知っている」と回答している。

学年別では、1年生の保護者で「知らない」の割合が他の学年に比べて高くなっている。



#### 4 町内の放課後等デイサービス事業所の認知状況

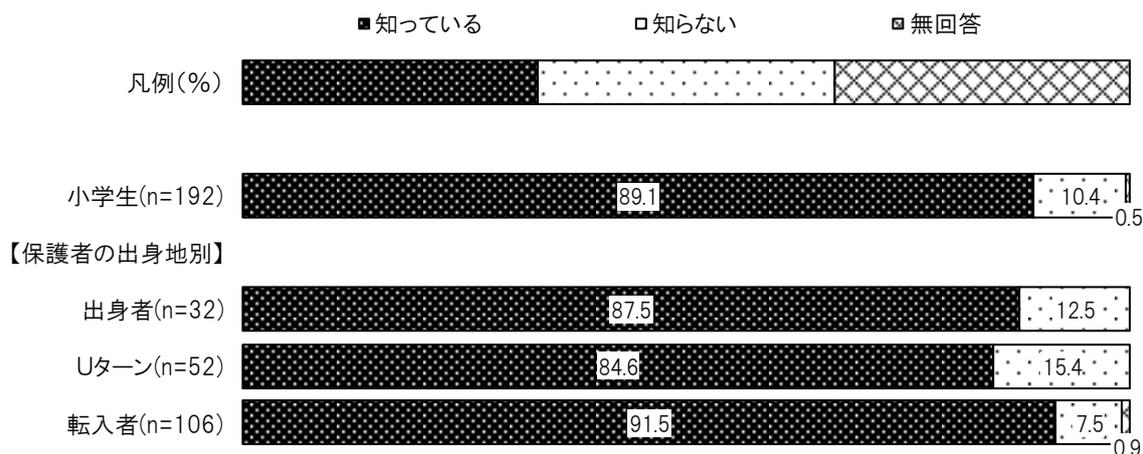
【療育を知っている方にうかがいます。】

小問 25-1 町内に放課後等デイサービス事業所があることを知っていますか。

(○は1つ)

町内の放課後等デイサービス事業所の認知状況については、大半(89.1%)が「知っている」と回答している。

保護者の出身地別では、大きな差はみられない。

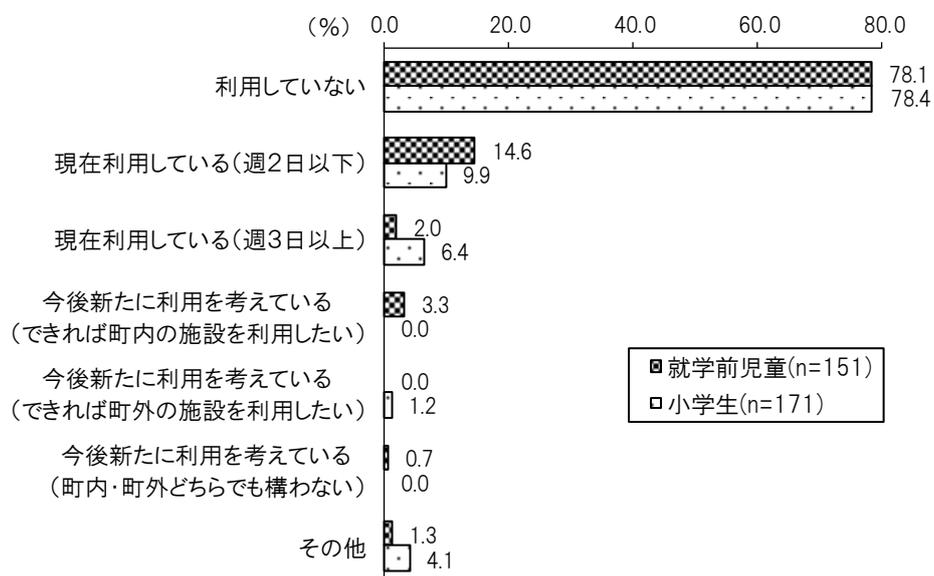


#### 5 療育の利用状況・利用意向

【お子さんの発達等が気になると感じていらっしゃる方にうかがいます。】

就問 31 (小問 26) お子さんは、現在、療育を利用していますか。または、今後、新たに療育の利用を考えていますか。(○は1つ)

療育については、就学前児童、小学生ともに、約8割が「利用していない」と回答しており、1割程度が「現在利用している(週2日以下)」と回答している。



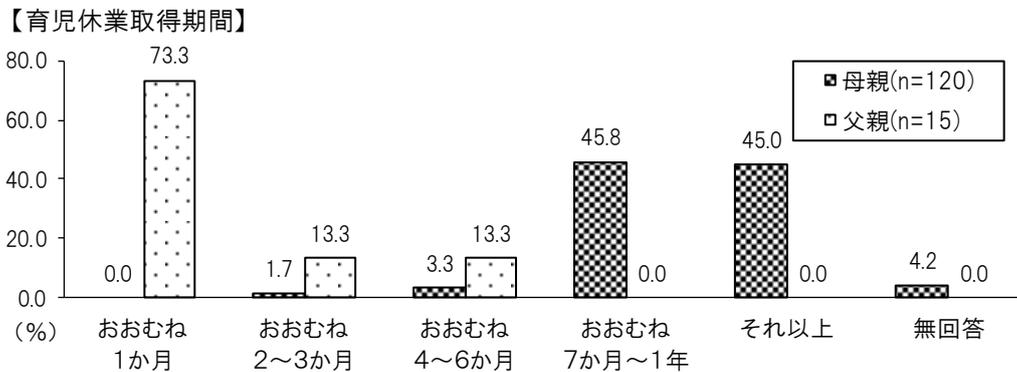
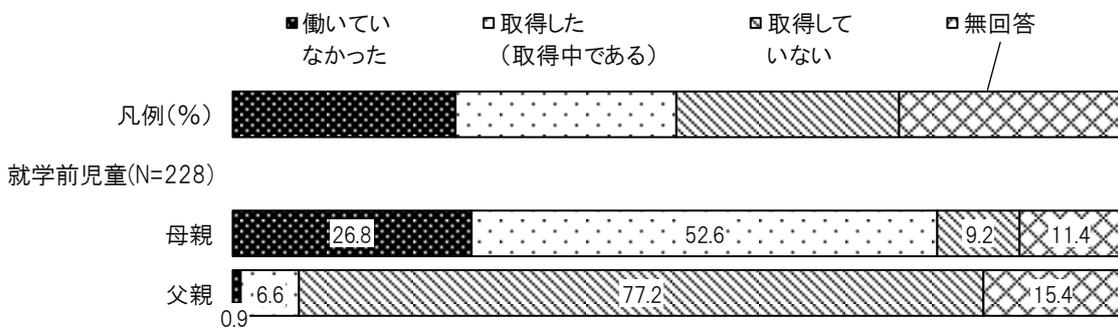
## 【13】 育児休業制度について

### 1 育児休業制度の利用経験

就問 32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得していない方はその理由を回答してください。  
(○は1つ)

育児休業取得経験については、「取得した（取得中である）」割合は、母親では過半数（52.6%）を占めているが、父親で取得した人は6.6%となっている。

育児休業の取得期間は、母親は「おおむね7か月～1年」「それ以上」を合わせると約9割となっている。一方、父親は「おおむね1か月」が最も高くなっている。



## 2 育児休業取得後の職場復帰状況

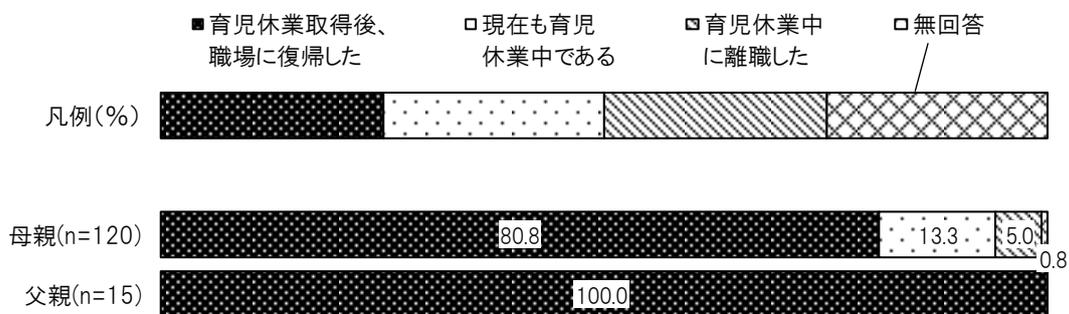
【育児休業を取得した方にうかがいます。】

就問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか（復帰しますか）。（○は1つ）

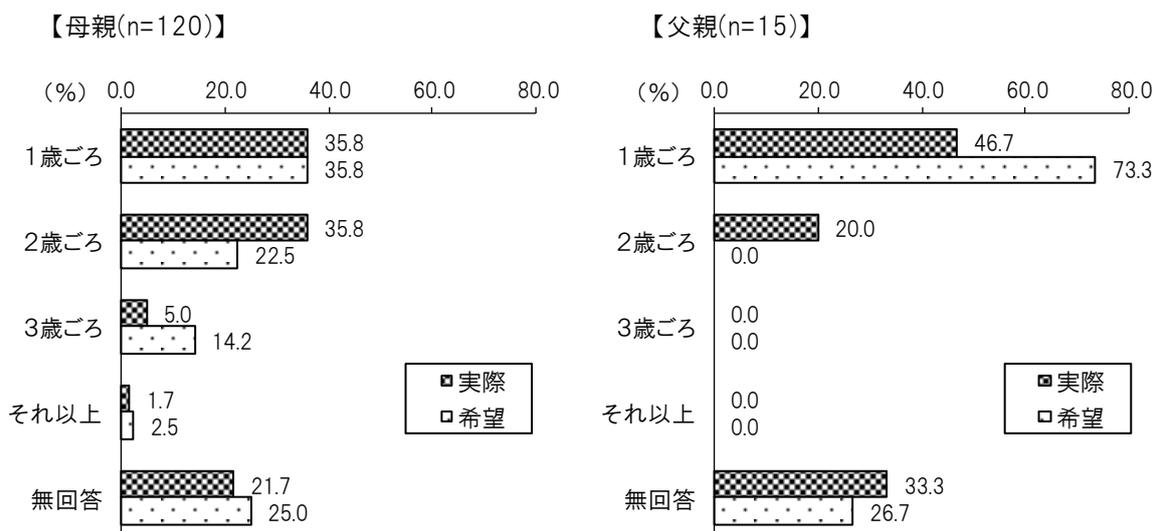
就問 32-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得しなかったですか。

育児休業取得後の職場復帰状況については、母親で8割（80.8%）、父親は全員が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答している。

職場復帰時の子どもの年齢は、母親で「1歳ごろ」「2歳ごろ」、父親で「1歳ごろ」の割合が高くなっている。また、職場復帰時に希望する子どもの年齢は、父親で「1歳ごろ」が母親に比べて高くなっている。



### 職場復帰時の子どもの年齢・希望する子どもの年齢



### 3 希望の時期に職場復帰しなかった理由

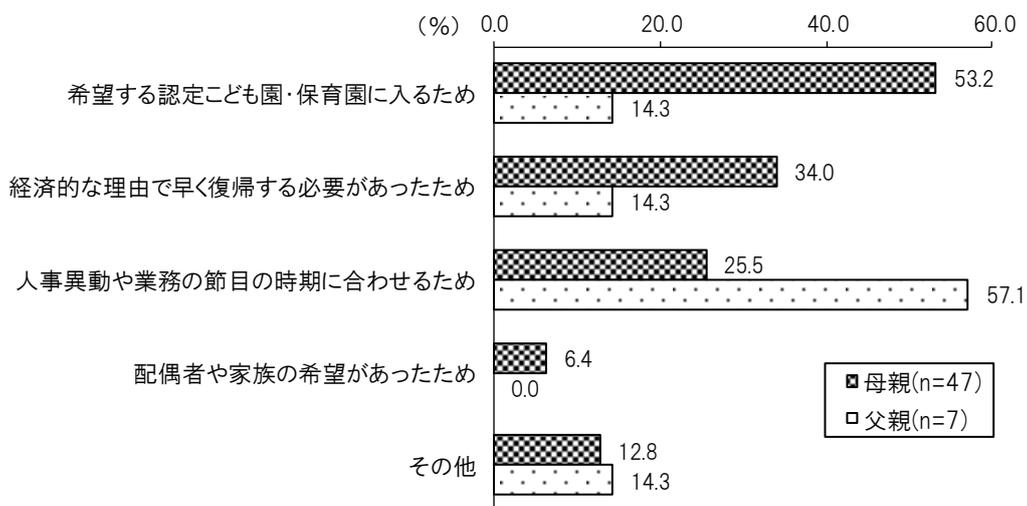
【育児休業を取得した方にうかがいます。】

就問 32-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由を回答してください。

(○は当てはまるものすべて)

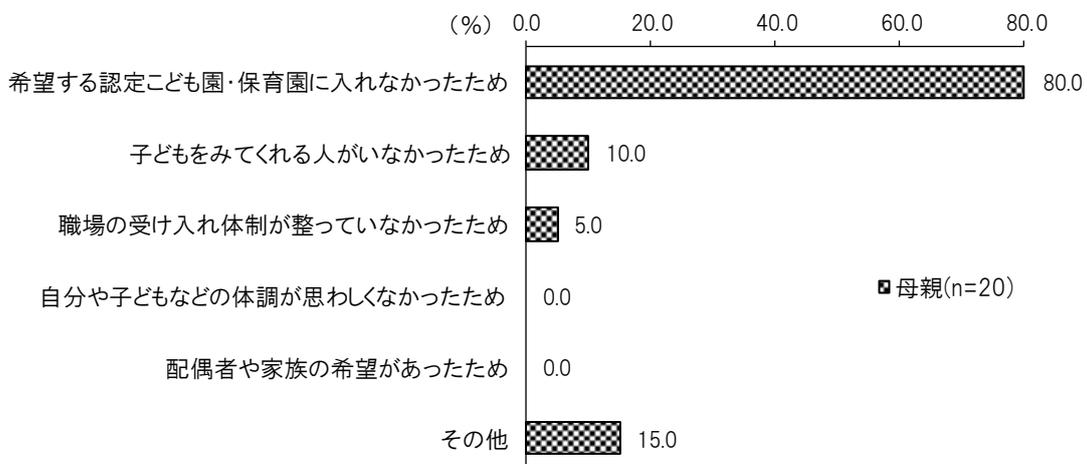
#### (1) 希望よりも早く復帰した理由

希望よりも早く復帰した理由については、母親で「希望する認定こども園・保育園に入るため」の割合が53.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(34.0%)が続いている。父親は「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が最も高くなっている。



#### (2) 希望よりも遅く復帰した理由

希望よりも遅く復帰した理由については、8割(80.0%)の母親が「希望する認定こども園・保育園に入れなかったため」と回答している。

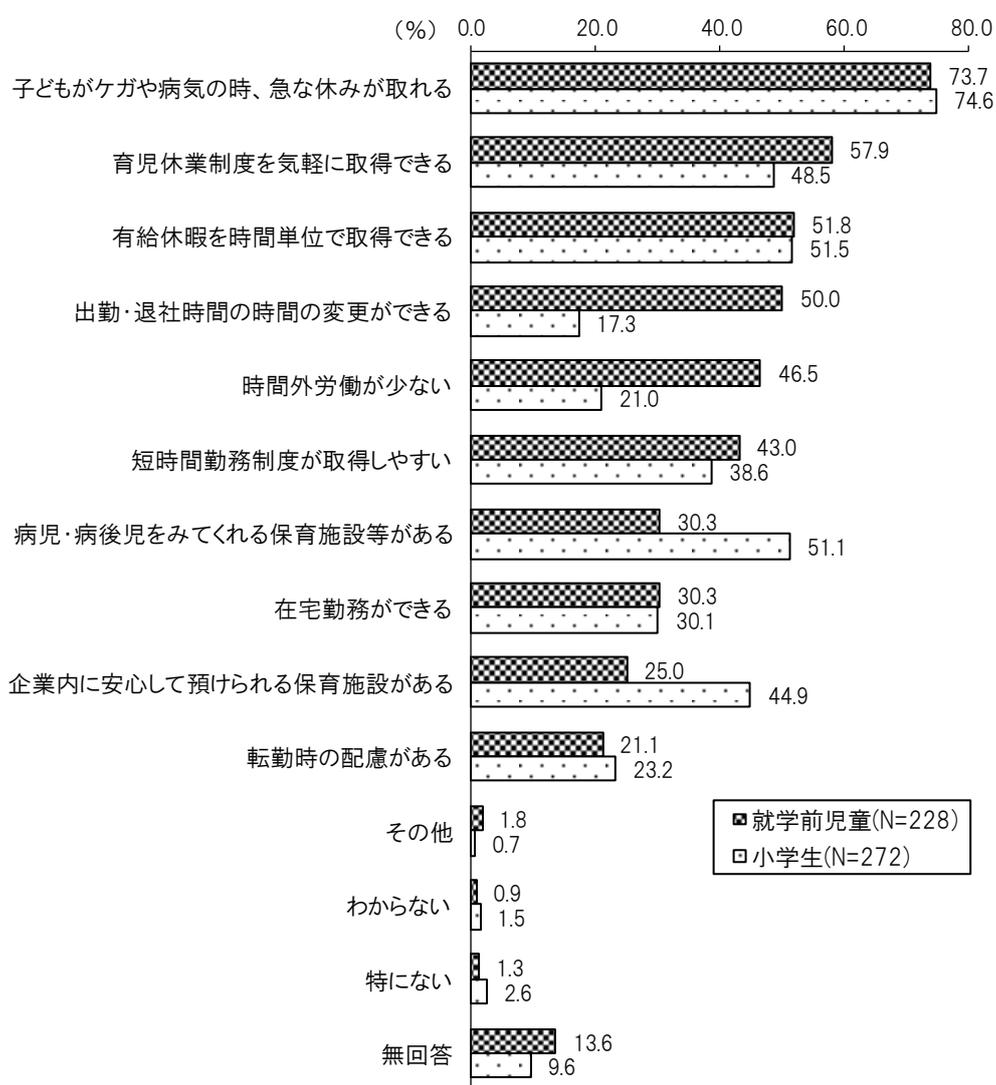


注：父親の回答はみられなかった。

#### 4 子育て支援について企業側への要望

就問 33 (小問 28) 子育てをしながら働き続けるためには、企業側にどのような環境を望みますか。(○は当てはまるものすべて)

子育て支援について企業側への要望は、就学前児童、小学生の保護者ともに、「子どもがケガや病気の時、急な休みが取れる」「育児休業制度を気軽に取得できる」「有給休暇を時間単位で取得できる」などの割合が高くなっている。また、就学前児童の保護者では「出勤・退社時間の時間の変更ができる」「時間外労働が少ない」、小学生の保護者では「病児・病後児をみてる保育施設等がある」「企業内に安心して預けられる保育施設がある」の割合がそれぞれ高くなっている。



## 【14】子育て支援などについて

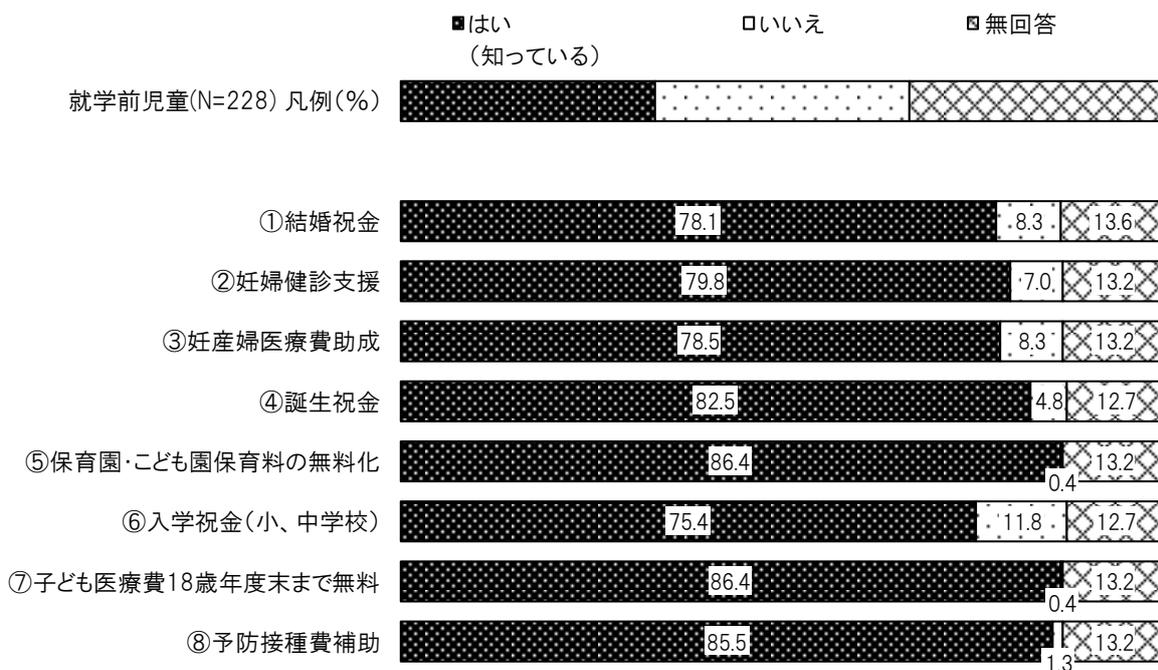
### 1 子育て支援の認知状況・利用経験・利用意向

就問 34 (小問 27) 矢掛町では町独自の子育て支援を実施しています。下記の矢掛町の子育て支援で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、制度を継続した方が良いものをお答えください。また、(B)で「はい」を選んだ場合は、利用した際の満足度についてお答えください。(○は1つ)

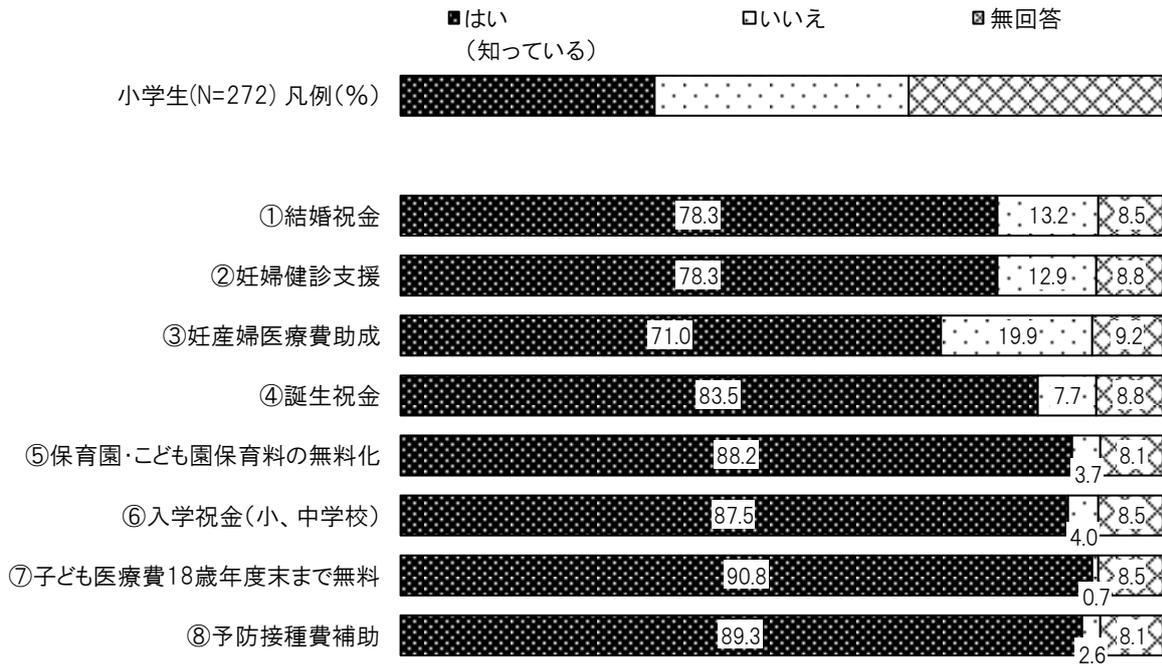
#### (1) 認知状況

子育て支援の認知状況については、就学前児童の保護者で「⑥入学祝金(小、中学校)」、小学生の保護者で「③妊産婦医療費助成」が、他の支援に比べてそれぞれ「いいえ」の割合が高くなっている。

#### 就学前児童



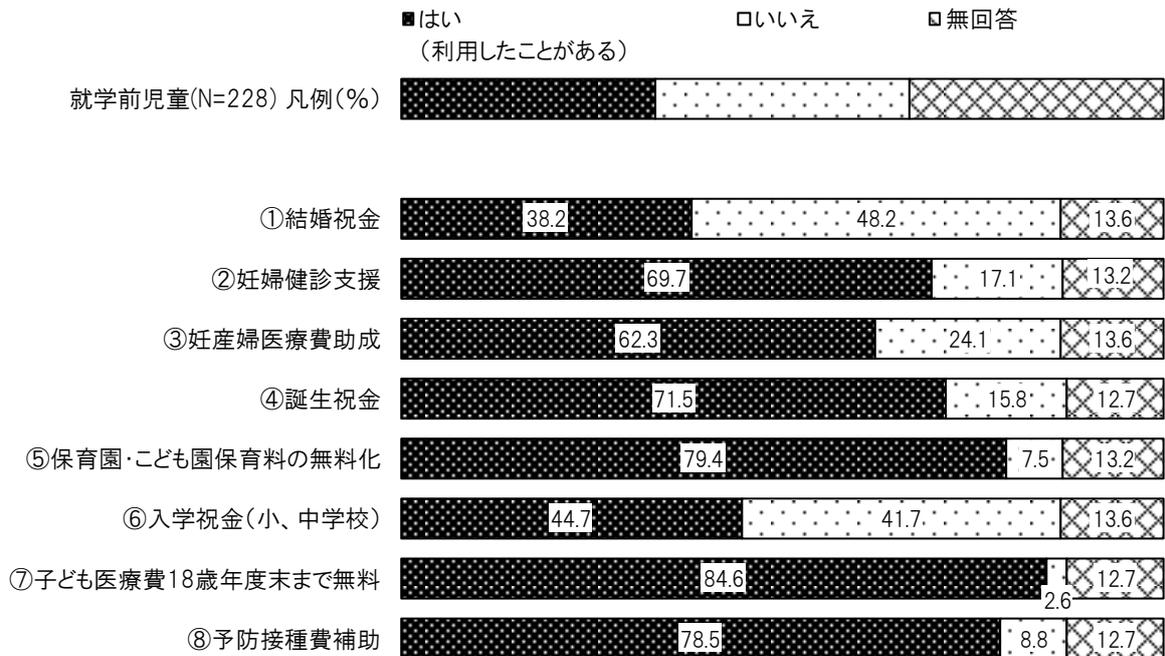
## 小学生



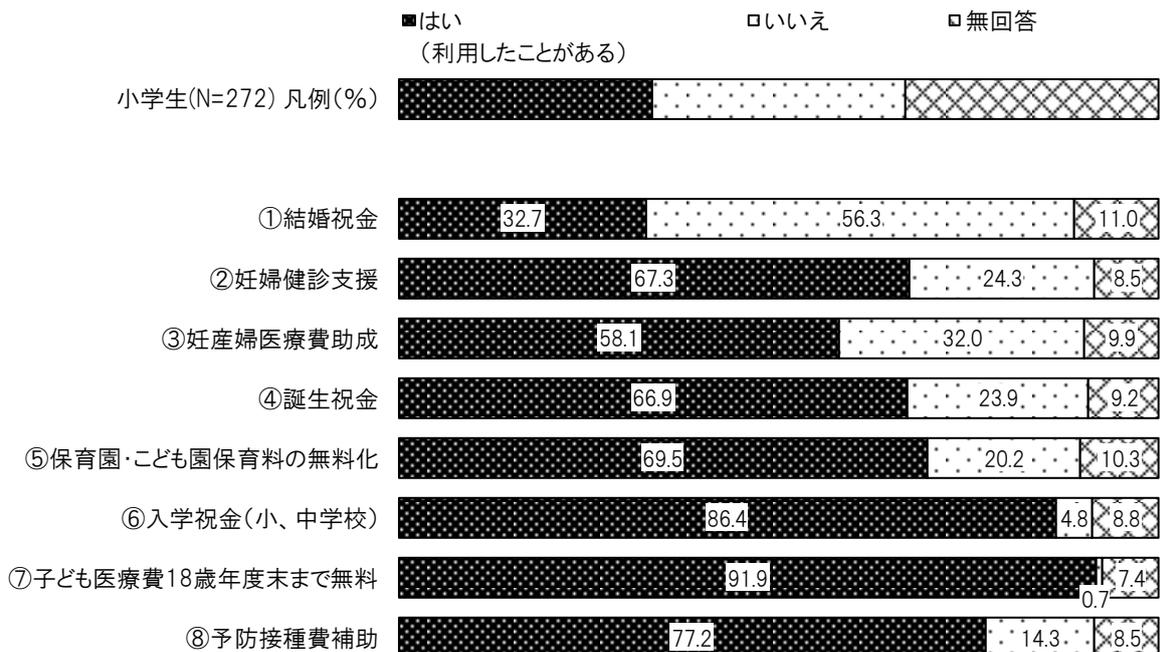
## (2) 利用経験

子育て支援の利用経験については、就学前児童、小学生の保護者ともに、「⑦子ども医療費18歳年度末まで無料」が最も高く、「①結婚祝金」で「いいえ」の割合が高くなっている。

### 就学前児童



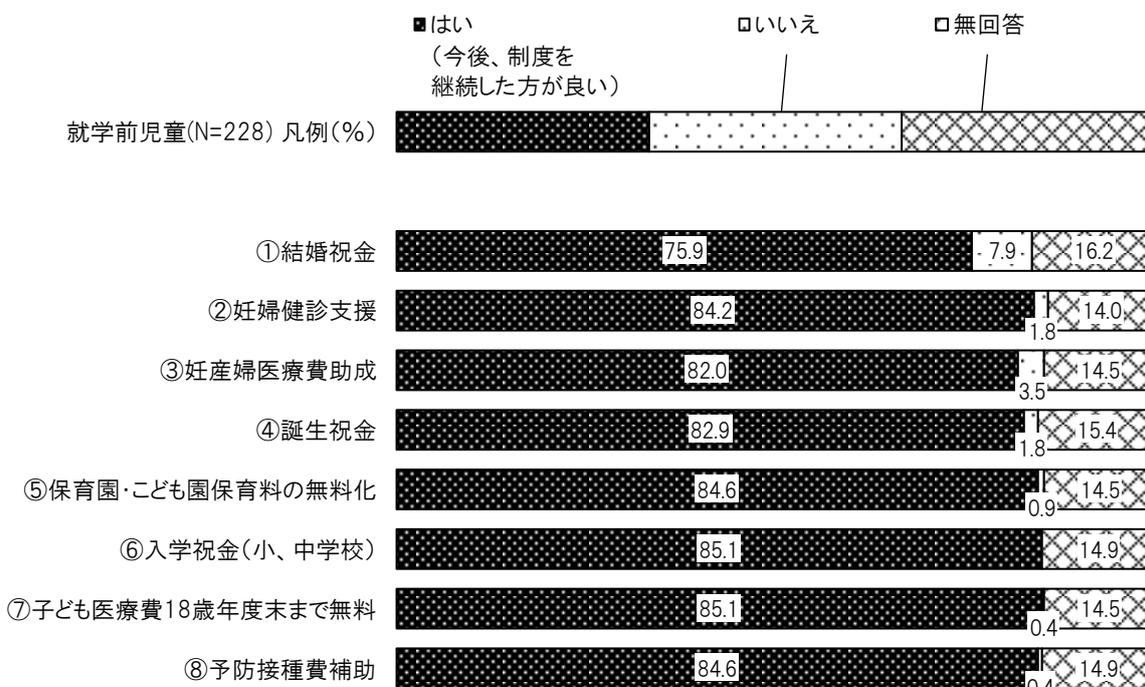
### 小学生



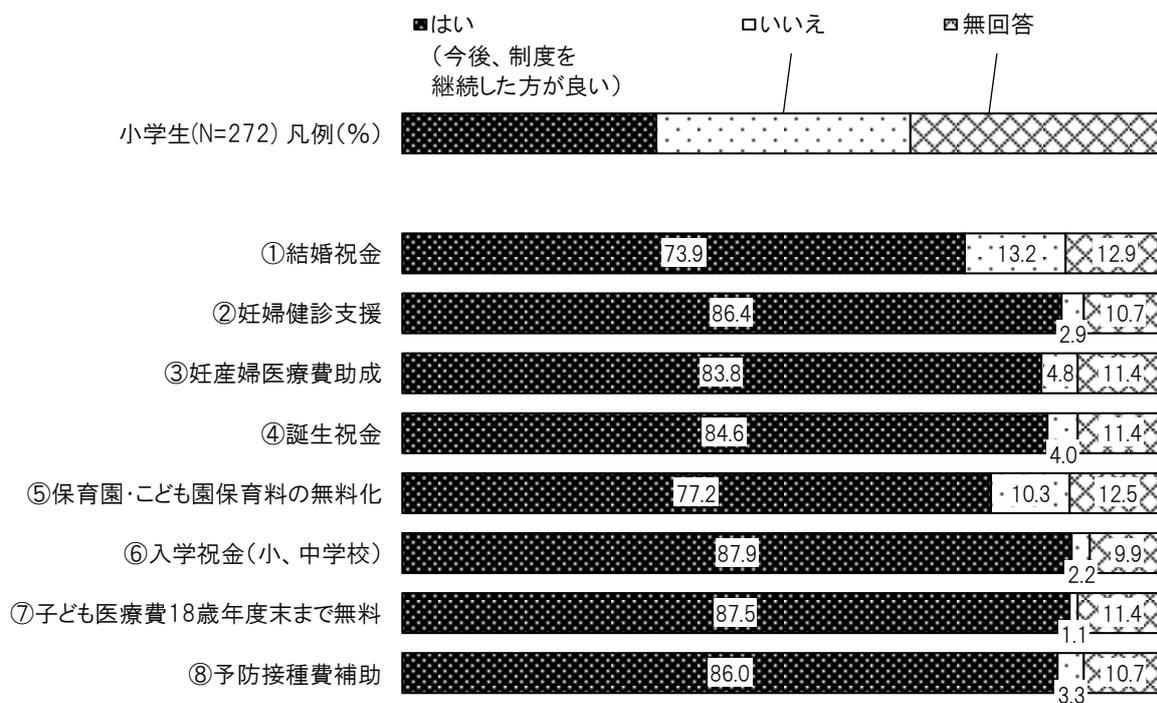
### (3) 継続希望

就学前児童、小学生の保護者ともに、子育て支援についてはおおむね8割以上が継続希望と回答している。

#### 就学前児童



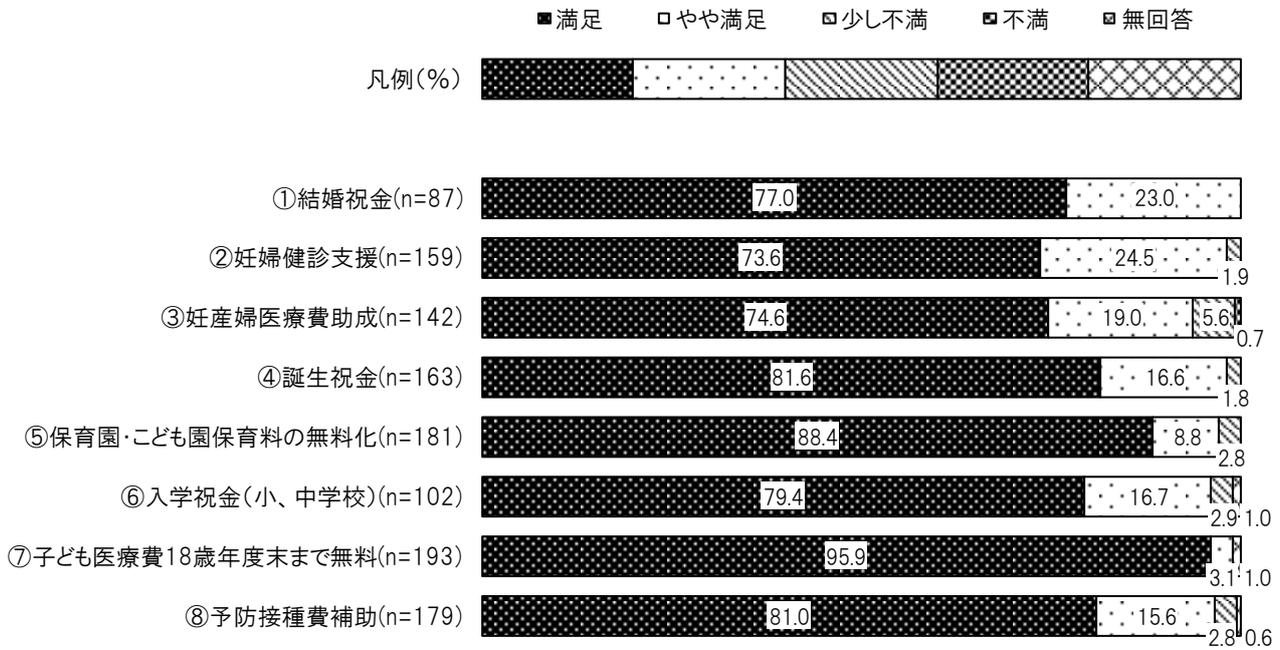
#### 小学生



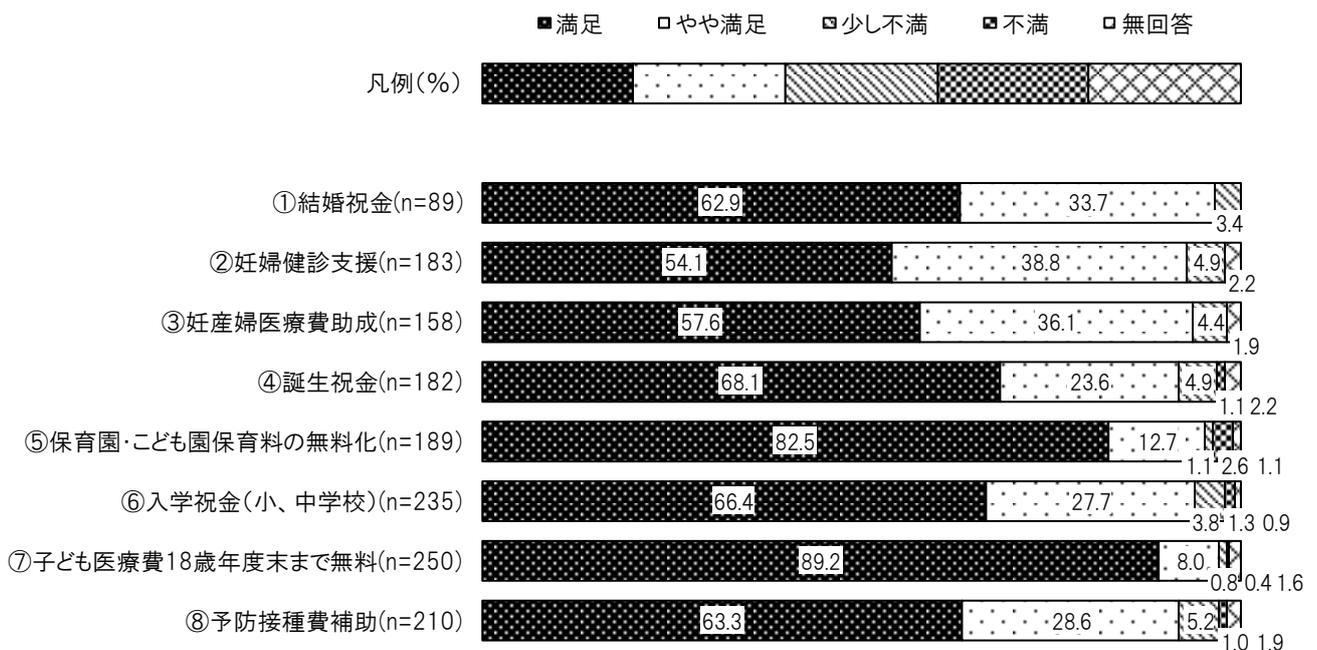
#### (4) 満足度

就学前児童、小学生の保護者ともに、おおむね子育て支援の満足度は高く、特に「⑦子ども医療費18歳年度末まで無料」で「満足」の割合が高くなっている。

##### 就学前児童



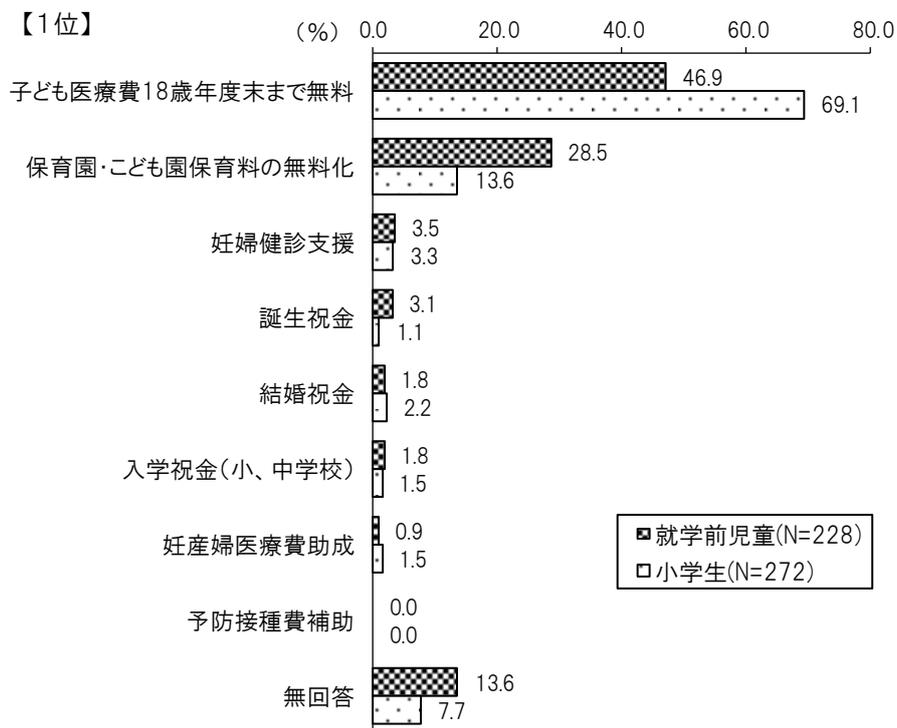
##### 小学生



## 2 子育て支援の重要度

就問 34-1 (小問 27-1) 今後、町独自の子育て施策の効果検証を行います。子育てをするうえで問 34 の「項目①～⑧」のうち重要度(必要度)が高いものを5つお答えください。(数字を記入)

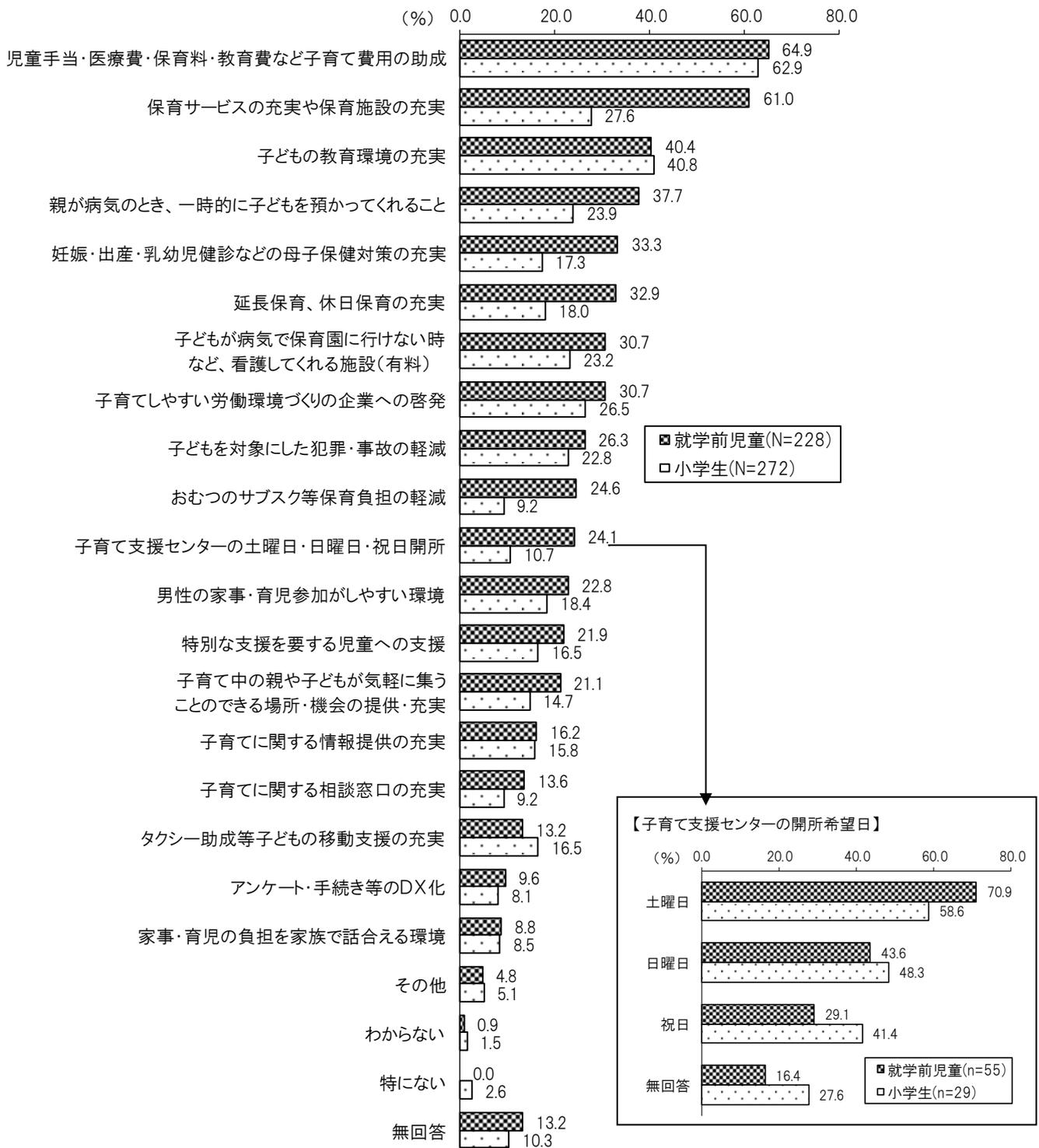
子育て支援の重要度について1位の割合をみると、就学前児童、小学生の保護者ともに、「子ども医療費18歳年度末まで無料」「保育園・こども園保育料の無料化」の順に高くなっている。特に、小学生の保護者で「子ども医療費18歳年度末まで無料」の割合が目立っている。



### 3 子育てをするうえで矢掛町に望む支援

就問 35 (小問 29) あなたは子育てをするうえで矢掛町にどのような支援を望みますか。  
(○は当てはまるものすべて)

子育てをするうえで矢掛町に望む支援については、就学前児童、小学生の保護者ともに「児童手当・医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が最も高くなっている。次いで就学前児童の保護者では「保育サービスの充実や保育施設の充実」、小学生の保護者では「子どもの教育環境の充実」が続いている。



矢掛町 子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
報告書（概要版）

---

発 行 / 令和6年3月  
発 行 者 / 岡山県 矢掛町 健康子育て課  
〒714-1297 小田郡矢掛町矢掛 3018  
電 話 (0866) 82-1013  
FAX (0866) 82-9061

---